

「茅ヶ崎市立中学校給食の実施方式のあり方（素案）」 についてのパブリックコメント実施結果

－ご協力ありがとうございました。－

- 1 募集期間 令和2年1月15日（水）～令和2年2月13日（木）
- 2 意見の件数 164件
- 3 意見提出者数 138人
- 4 意見提出者年齢

年代	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
人数	1人	0人	11人	35人	7人	8人	20人	56人

5 内容別の意見件数

	項目	件数	※	項目	件数
1	中学校給食の実施時期について	23件	13	素案検討の体制等について	12件
2	アンケートについて	7件	14	あらましについて	2件
3	中学校給食実施に伴う、教職員の働き方への影響について	4件	15	説明会について	2件
4	実施方式の全般について	5件	16	その他	2件
5	選択制デリバリー方式について	36件	17		
6	選択制喫食について	10件	18		
7	自校方式について	22件	19		
8	兄弟方式について	1件	20		
9	親子方式について	9件	21		
10	センター方式について	11件	22		
11	給食提供方式による課題について	6件	合 計		164件
12	食育、食の安全性などの考え方について	12件			

＝ 一部修正を加えた項目

茅ヶ崎市教育委員会 教育総務部 学務課 保健給食担当
0467-82-1111（内線 3323, 3324）
e-mail:gakumu@city.chigasaki.kanagawa.jp

(意見及び市の考え方)

■中学校給食の実施時期について（２３件）

(意見１)

両親ともフルタイムで働いているため、人数分毎日お弁当を作るのはとても大変で、また、毎日作るとなるとどうしても冷凍食品などに頼ってしまったり栄養の偏りも心配のため、是非中学校でも給食にしていきたいです。中学校でも給食を強く希望致します。

(意見２)

茅ヶ崎市で中学校給食の実施が進んでいる事は、大変嬉しく思います。全国で実施率が 90%を超えているのに対して、なぜ神奈川は 50%以下なのでしょう？疑問に思っていました。

共働きの増加により手作り弁当が難しい家庭、飽食時代での偏食、貧困など、さまざま家庭の事情があります。中学校給食の実施には莫大な費用がかかる事も予想できます。けれども、ここは優先的に費用をかける場所だと私は思います。

食は身体を作る基本です。将来の健康被害を防ぐ為にも、義務教育中は全ての子ども達にバランスのとれた学校給食をお願いします。

小６児童が現在不安に思っている、食べられる量なのか？時間内に食事を終わらせるのか？など、まだまだ検討が必要ですが、（主食は個人で持参して量を調整するなど）中学校給食の実施は、絶対必要だと思います。

(意見３)

中学校給食の実施について、賛成いたします。

メリットとして、

- ・栄養バランスのとれた食事ができる
- ・成長期における不要なダイエットを減らせる
- ・働く親の負担が軽減される
- ・温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに美味しくいただける

私自身、中学校は給食でした。クラスの皆と同じ食事を食べることは、楽しみでもありました。

デメリットとしては、食物アレルギーや異物混入を防ぐために、調理員や教員に負担がかかること。

給食費未納により、いじめなどのトラブルにつながる事。

などが考えられるので、全員給食ではなく選択制にすることもいいかな、と思います。私立では、そういう学校も増えているようです。

(意見４)

「中学校給食の意義・目的」は小学校給食にも当てはまると思いますが、中学校給食実施

がここまで遅れている理由は何でしょうか？

また、給食開始の時期はいつ頃を目指していますか？

私が中学校給食実施を急いで欲しいと思う理由のひとつはアンケート結果にあるように親の負担が大きいということです。

単に忙しいというだけでなく、思春期に必要な栄養バランスの整ったお弁当を日々用意するのは難しく、どうしても片寄ってしまうという声もよく聞かれます。

(意見5)

小学2年生の子を持つ母です。今は小学校で給食が支給され、有り難く毎日おいしい給食をいただいております。育ち盛りの中学生にも是非給食を取り入れていただきたいです。お弁当ですと入れる物も限られますし、栄養の偏りもあります。給食費として月に5～6万かかっても構いませんし、また人員の雇用にもつながるかと思いますので、是非ご検討いただきたく宜しくお願い致します。

(意見6)

導入の背景にも記してあるように、社会生活の変化・少子高齢化、共働き等のライフスタイルの変化により、中学校給食は導入する必要があると思う。

(意見7)

中学校給食で「いじめが起きないように」また「教育のことも考えて」安心を確保し、安全にすすめてほしい。

(意見8)

市民が納得する方法で実施してほしいと思います。事業の実施には先行投資は必要です。茅ヶ崎市が魅力のある市として人を呼び込むことができるよう、中身を本気で考えてほしいと思います。

(意見9)

小学校5年生の娘を持つ、フルタイムで働いている母親です。お世話になっております。お陰様で、娘は毎日楽しく公立小学校に通っており、茅ヶ崎市や教育委員会の皆様に感謝しています。

中学校の給食ですが、ぜひ早期実現をお願いしたいです。私が子育てをし始めた10年前は、母親も働きに出る人が増えた頃で、待機児童が問題となり、仕事と育児の両立に大変苦労しました。また、幼保無償化が始まる前、予防接種も定期接種が少なく十数万円を使って任意接種を受けさせた世代です。公的な子育て支援が、届く前の世代と感じております。

中学校の給食の実現が4年後位とのことですが、より早期に実現していただけると、私達世代に子育て支援が届きます。フルタイムで毎朝、育ち盛りの子どものお弁当を作るのは、難しいと感じております。どうか、この世代にも子育て支援をしていただきま

すよう、よろしくお願いいたします。

（意見 10）

学校給食法では、目的として、①児童生徒の心身の発達に資する。②食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で有用な役割を果たす。③食に関する指導の実施に関する必要な事項を定め、学校における食育の推進を図る。と位置付けられていることから公的な役割が重視されます。早急に市として実施すること。

（意見 11）

共働きとしてはやはり中学校給食の実現を強く望んでおります。学童に行っている夏休みや冬休みの間は給食がないのでお弁当を作らなければならないのですが、現状朝4時に起きてお弁当の準備をしています。給食の早期実現を期待している一方で、美味しく子供にとって良いものが提供されることを願っています。

（意見 12）

教育委員会の方には是非とも中学校給食の早期実現に向けた努力をお願いしたいと考えております。

（意見 13）

早期の実現をお願いいたします。

（意見 14）

現在、小学5年と3年の子どもがいる母です。中学校給食の実現を希望しています。素案を確認しましたが、結局は実施が出来ない言い訳が記載されているだけにしか見えません。本当に導入する気がありますか？予算的に厳しいのも理解できますが、給食を導入している他の自治体も開始時にはコストをかけています。お金は理由になりません。

全国的に見てもお弁当持参は時代遅れです。同じ公立中の中学生なのに、温かくて栄養バランスの取れた給食を食べられる子と食べられない子がいるのは不平等です。本気でちゃんと考えてください。中学校は給食が当たり前だということを理解してください。全国で当たり前に行われていることが実施できない恥ずかしい自治体だということを自覚してください。

（意見 15）

香川小学校 PTA では、学校給食についてアンケートを実施しました。児童数 1,149 名（家庭数 896 世帯）に対し、PTA メール登録者数 770 名（父母登録もあり）そのうち回答者数 390 名ですので、回答率 50%を超えており、アンケートとして成立していると思います。結果として「早く実施してほしい」「実施方法にもよるが期待している」が 93%と実施の早期実現を望む声が多くみられました。

その他の意見については別添いたしました。

(意見 16)

12 ページの前提条件の整理として、用途地域の一覧表ですが、まるで中学校の給食施設が建てられない地域だと思わせるために、表しているみたいです。茅ヶ崎市の未来を担う子供たちのために、給食施設を作りたいということは、行政が努力をすれば、市民の理解は得られると思います。

15, 16 ページを見ていると、自校方式がだめでも、兄弟方式、親子方式、センター方式があります。事業の手法もいろいろあるようです。

16 ページの下の方に「全方式として、中学生にふさわしい献立の実現が課題となります。中学生は心身の成長が著しい時期であり、必要な栄養素や喫食量が小学生とは異なることにも注意が必要です。敷地内での物理的な実現可能性、既存校舎への耐震等の影響、日課や部活動等生徒の学校生活への影響及び整備に係るコストや時期等を総合的に勘案し、本市の中学校給食の方式として最適と考えられる方式を選択する必要があります。」と記載されている文章は、「面倒なことはやりたくない。子供たちのために努力はしたくない。とにかく、給食になればいいのだろう。」という風に読み取れます。

デリバリー方式にして、業者に丸投げすれば、茅ヶ崎市の給食に対する役割は、終わるのでしょ

うでしょうか。
デリバリー方式にして大失敗をした他自治体があります。茅ヶ崎市が大失敗をしないという保証はありません。もっと、真摯に考えてほしい。

以前、市庁舎建て替えの説明会などで、「市庁舎建て替えで、後々に市民サービスの低下はしません。」と市側は断言したのに、中学校の給食施設の資金がないとは言わないでほしい。柳島のスポーツ公園を作り、道の駅まで作ろうとしている。

以前エアコンのリース料がないので寄付を願ったりしていましたが、今度は中学生の給食のための資金がないのでしょうか。

茅ヶ崎市は子供たちのためのお金は用意できないのでしょうか。

市税は、大切に、使うべきところに使ってほしい。

(意見 17)

【準備が整った学校からの順次開始】

全校一斉に給食を開始する必要はなく、準備が整ったところから順次給食を実施してほしい。

全校一斉開始は効率が悪い。

準備が整った学校から順次給食を開始した方が、実施後発生する問題点に対し、規模が小さいうちにより早く対策が取れる。そして、その後実施する学校へも、その対策を展開し、効率よく運用していける。

また、準備が出来た学校から開始すれば、未実施の学校の生徒や保護者からの要望や期待も高まり、茅ヶ崎全校への展開にドライブが掛かりやすくなる。

一方、全校一斉にこだわると、準備段階で市長が変わると、方針転換も容易に行えてしまうため、計画が容易に頓挫するリスクがある。

より早く後戻りできない状況へ持ち込むためには、準備が出来た学校から給食を実施するべきだと考える。

【居住の魅力を高めるために】

近隣の他自治体と比較し、茅ヶ崎市は子供に関する住民サービス（保育料の高さ、小児医療費助成の所得制限、中学校給食の未実施等）で見劣りしている状況がある。中学校給食の実施が遅れば遅れるほど、茅ヶ崎市に居住する魅力がさらに薄れていくことになる。

それを改善するためにも、出来るだけ速やかな中学校の給食実施をお願いする。デリバリー方式でさえ、4、5年必要とのことだが、安全性、安定性、品質等を確保したうえで、可能な限り前倒しをお願いしたい。

【共働き家庭の増加から】

日本政府の政策により、女性の社会参加が求められており、共働き家庭が増加している。共働き家庭では、毎朝の弁当の準備は負担が大き過ぎる。共働きを断念する一因ともなっているため、至急中学校の給食は実施をお願いしたい。

（意見18）

まずは中学校給食実施に向けて真剣に取り組んでくださっていることに心から御礼申し上げます。私は都内に片道2時間かけ、フルタイムで通勤しているので、毎日のお弁当作りは正直地獄です。手抜き弁当で思春期の子供がいじめられる原因になるのではないかと心配もあります。給食ならそのような心配はありません。偏食も、友人と同じものを食べることで克服できることもあります。私は長野県出身で、中学も給食が当たり前でしたので、神奈川県の実績に驚きました。これから少子化が進むことも考えられるので、大がかりな設備投資は必要ないと思いますが、どのような形でも、中学校給食を実現させて欲しいと願い、ご担当者様は本当に大変だと思いますが、応援しています。どうぞよろしくお願いいたします。

- ・EVは必要なんですか？私が学生の頃は、給食当番が歩いて運んでいました。
- ・実現できそうなやり方から始めてみて、子供の数が減ってきたら親子方式にしたり、柔軟にできると良いと思いますが、難しいでしょうか？
- ・デリバリー方式の場合の突発的な欠席対応困難というのは仕方ないことで、料金を支払うのは当然だと思います。事前の予約システムで、前日までは対応できるとありがたいと思います。
- ・デリバリーの選択制であれば、家庭の事情により、弁当を持参させたい人もいると思うので、反対も少なく始めやすいのではないかと思います。
- ・学校給食法を読むと、給食があるのは必然だと理解します。
- ・家の弁当では、好きなものばかりで偏ってしまいます。朝も夜も家で食べるのですから、昼は家以外の、家庭では与えないものを摂取して欲しいです。

中学校給食の実施について、これほどの調査やデータを作成し、検討してくださっていること、市長様はじめ事務ご担当者様、関係者の皆様に心から御礼申し上げます。期待しています！

(意見 19)

中学校給食実施率が全国で 90%を超えているのに、茅ヶ崎市はやっと準備が始まりました。遅れた理由が見当たりません。遅れた理由を市民に公表し、役所の公文書にしっかり収めてください。

(意見 20)

P 9 のアンケート結果のとおり、保護者の約 9 割が、中学校給食に期待しており、また、県内の大部分の都市が、既に中学校給食を実施済みであるのに対し、茅ヶ崎市は、県内でも最も遅れている事を、しっかりと認識すべきと思います。

共働きの家庭にとって、中学校のお弁当作りは大変大きな負担であり、早急に中学校給食を実施していただきたいです。

(意見 21)

学校給食実施について、様々な角度から検討頂いていることがよく分かりました。

ただ、実施に向けてのスピードが遅いのが非常に気になります。

子育て中は朝、晩と栄養や子供の好みを考慮して食事作りをしています。食べ盛りの中学生を 3 食満足させる食事作りはかなり親の負担が大きいです。また一人親であったり、経済的な事情で、毎日お弁当を持たせるのが難しい家庭も多いと思います。

一刻も早い実現を望みます。毎月一生懸命納めている税金を有効活用して下さい。

(意見 22)

中学校給食の早期実現に期待しています。現代の中学生も貧富の格差の影響を大きく受けていると感じます。中には昼食を取っていない生徒もいると聞いたことがあるので、バランスの良い食事の提供を期待します。

(意見 23)

家族構成、親の就労状況や健康状態など家庭環境によってはお弁当を作ってもらうのが難しい場合があります。子どもによっては、そのことがストレスになっているようなケースはないか少し気がかりです。

給食になることで、そういう子どもの不安やストレスを少しでも和らげることができたらと思います。

(市の考え方)

本市は、児童生徒が安全で安心して学校生活を送れるよういち早く施設の耐震改修を実施し、大規模改修やトイレの洋便器化、普通教室の空調や防犯カメラの設置などの学習環境の整備に取り組んでまいりました。また、給食については小学校全校で自校式による小学校給食の提供に向け、給食調理場の建設を進めてきました。

上記事業などの進捗を踏まえながら、本市の中学校給食では、共働き世帯の増加や家庭の経済的事情等の家庭環境の変化に伴い、家庭におけるお弁当作りの負担が大きくなっていることなどの状況を踏まえ、児童のみならず、生徒にも、安全で安心な、栄養バランス

のとれた昼食の提供と食育の推進のため、主食・おかず・ミルクで構成する完全給食を提供するとともに、専任の栄養士等を配置し、食育・安全・衛生の視点を踏まえた「学校給食法」に基づく給食の実現を前提とし、「茅ヶ崎市立中学校給食の実施方式のあり方」（以下「本「あり方」」という。）の策定に着手しております。

今後、本市の実情に適した中学校給食の実施時期の決定に向け、皆様からいただいたご意見や検討が必要となる事項を踏まえ、また学校の環境整備や安全確保についても継続して取り組むとともに、引き続き、中学校給食の実現に向けた検討を進めてまいります。

なお、いただいたご意見を踏まえ、次のとおり文言を修正いたします。

◆修正部分の対照表

修 正 後	修 正 前
9. 実施方式のあり方 略 <u>今後は、令和元(2019)年度に実施したアンケート結果及び本書に対する意見を参考に、本市の実情に適した中学校給食の実施時期の決定に向け、児童生徒、及び保護者並びに教職員との対話や情報共有、必要となる関係機関等との協議、学識経験者等からの意見聴取などについて、さらに深く検討を進めてまいります。また、「学びあい響きあう ちがさき教育プラン（茅ヶ崎市教育基本計画）」に示すとおり、第2次茅ヶ崎市食育推進計画・茅ヶ崎市健康増進計画（後期）・茅ヶ崎市環境基本計画（平成23(2011)年版）等の関連する施策等と連携しながら、推進してまいります。</u>	9. 実施方式のあり方 略 <u>今後は、「学びあい響きあう ちがさき教育プラン（茅ヶ崎市教育基本計画）」に示すとおり、第2次茅ヶ崎市食育推進計画・茅ヶ崎市健康増進計画（後期）・茅ヶ崎市環境基本計画（平成23(2011)年版）等の関連する施策等と連携しながら、推進していくことが重要です。</u> <u>今後は、令和元(2019)年度に実施したアンケートの結果から、中学校給食の実施に期待している児童生徒及び保護者は多いため、本市の実情に適した中学校給食の実施時期の決定に向け、学識経験者等からの意見聴取などを含め、さらに進めていく必要があると考えます。</u>

■アンケートについて（7件）

（意見24）

アンケートを取る際に、児童生徒と保護者それぞれに取ったと思うのですが、子どもと親の考え方も違うと思うので、喫食率を知るために、その家庭としてお弁当を持参するのか、給食を希望するのかという設問を入れた方が良かったと思いました。

（市の考え方）

ご家庭からお弁当を持参するのか、給食を選択するのかという質問につきましては、実施方式が選択制デリバリー方式になった場合に必要な質問となるため、今回のアンケートには入れておりません。

ご指摘のように、選択制デリバリー方式での喫食率は、予算の算定や導入規模の想定時に必要となることから、今後喫食率の把握に取り組みます。

（意見25）

特に市民参加をするべきとの提案に、アンケートをしたから良いとの回答が担当からありました。しかし、アンケートは、何を聞くか、どのような設問を作るかによって、作

為的に誘導することが出来ます。今回のアンケートは、どのようなシステムで、どのような内容の給食が良いかの設問をしていません。給食を実施することが決まっているにも関わらず、アンケートによって、施策の方向性が決められるものにはなっていませんので、この施策に関しては無意味です。

(意見 2 6)

令和元年度第 2 回定例会一般質問で、竹内教育総務部長がこう答えている。

「アンケートはこれで終わりということではございません。アンケート以外にもいろいろな場面で御意見を頂けるものと考えております」。

また同会でアンケートの実施目的のひとつに「提供の方法」を竹内教育長はあげているが、自校式・兄弟方式・親子方式・センター方式・デリバリー方式を問う設問がなかったため、アンケートは再度実施していただきたい。

説明会もさらに工夫が必要だろう。参加率と喫食率は比例するものとする。

また自由回答であるこのパブコメは非常にハードルが高い。

もっと積極的に市が市民の声を拾いに行くようであれば、小さな成功しか生まれない。

最後にこれもまだ現在素案ではあるが、茅ヶ崎市総合計画について取り上げたい。

政策目標

- 1 子どもが希望を持って健やかに成長し、次代を担うひとが育つまち
- 2 地域が活力にあふれ、交流とにぎわいのあるまち
- 3 共に見守り支え合い、誰もが健康に暮らすまち
- 4 誰もがいつでも学べ、生きがいを持って自分らしく暮らすまち
- 5 豊かな自然と共存し、心地よい生活環境のあるまち
- 6 安全で安心して暮らせる、強くしなやかなまち
- 7 利便性が高く、魅力的な都市空間が整うまち

中学校給食が果たせる役割は大きい。

選択制デリバリー方式以外において。

以上。

(意見 2 7)

改めて市民の意見を聞く場を設けてほしいです。

実施方式について、市民にアンケートを取ってほしいです。

(意見 2 8)

食育が問題視されている中で、茅ヶ崎市もやっと、中学校の給食の実施になることに良かったと思っていましたら、素案を見ましたら、デリバリー方式ありきで、進んでいるようにしか見えません。

8 ページの小学校 6 年生の中学校給食へのアンケートで、「給食になってほしい」35.2 %より、「給食になってほしいとは思わない」38.3%が、3.1%上回っているのはなぜな

のか、きちんと調べてほしい。

9 ページの保護者のアンケートに「中学校給食の実施について期待していない」の保護者に詳しい気持ちを聞いてほしい。

「保護者の望む、中学校給食」とは、「小学校 6 年生の望む、中学校給食」とはを、もっと丁寧に調べる必要があると思います。

(意見 2 9)

小学校のアンケート結果で子供の意見として、給食を望まないという意見も多いですが、大人が子供の栄養面等、健全な発展を考えた上でもう少し検討をおこなってほしいです。

(市の考え方)

本「あり方」8 ページの「2. 3. 中学校給食についてのアンケート結果」(以下「アンケート結果」という。)は、本市市民参加条例第 8 条第 2 号の市民参加の方法として実施しております。また、調査目的を明確にし、複数の選択肢と意見記述欄を設けました。

アンケート結果などを踏まえながら、本市に適した実施方式のあり方として「提供方法を弁当箱とする選択制デリバリー方式」(以下「デリバリー方式」という。)を、一定の方向性とししました。

なお、今後、多くの生徒等に選択される給食とするために、導入前から、児童生徒及び保護者並びに教職員に対し、ニーズ調査などを行ってまいります。

(意見 3 0)

中学校給食のアンケートが、しっかり実施されています。一般市民で興味のある人はホームページで知ることができます。しかし、パソコンのない人やアンケートを実施していること知らない人などに「知る機会」を教委はどうつくりましたか。また、アンケート結果をなぜ広報ちがさきに載せなかったのですか。

(市の考え方)

ご指摘のアンケート結果を広報ちがさきに載せなかったことにつきましては、紙媒体の広報ちがさきは紙面に限りがあることから、市ホームページと本「あり方」に示すことで、市民の皆様へ、広く周知することに努めました。

■中学校給食実施に伴う、教職員の働き方への影響について(4 件)

(意見 3 1)

他自治体で中学教員をしています。

現場の声をきちんと反映して頂ければと思います。

勤務先の自治体で導入したデリバリー給食は、普及率が上がっていません。

報道されてはいませんが、普及率が上がれば間違いなく現場で対応ができなくなるようなシステムです。

例えば、メインが 2 つから選べ、ご飯のサイズも選べます。汁物や飲み物を付けるかどうかも自由で、それをひとりの宅配の方が現場で組み合わせ、生徒に氏名を確認しな

がら手渡しされています。注文が増えれば間違いなくミスが増え、混乱するのは間違いありません。

全員が完全に給食にするなら、昼食時間は延びます。そして午後の授業の終了時刻は遅くなり、部活や委員会活動にも影響します。現在でも6時間授業はほぼ週に4日行われていて、終了時刻は3時半ごろでしょう。完全給食で小学校のような方式であれば、四時になります。冬場の下校時間が早まる頃は、部活ができるのは45分以下になるでしょう。運動部できちんと準備運動やクールダウンさせる時間は無く、怪我が増えるかもしれません。

それよりも、主食や飲み物は自分で用意するのも食育だと思います。食器も空のお弁当箱を持参させるくらいでよく、おかずだけ二品用意するくらいでよいのではないのでしょうか。持ち帰って洗うのは、自分であることを推奨すれば良いのです。食べ物を用意してもらうのが当たり前なんて国が、世界のどこにあるのかと思います。給食なんて、戦後のシステムですから。

授業時間の確保に現場は必死です。

そもそもお弁当に手を掛けることが当たり前の日本が、世界的には異質なのです。どんな昼食でも良いという声や、女性に家事の負担が偏っている現状が給食必要論を後押ししているように思います。

(意見32)

学校の先生方の労力が今以上に増えない方式の採用を実施しない方向も含めて、検討下さい。

市の教育財政の縮小の現状をおききしています。子供にとって、学校は食育が一番の目的の場所ではなく、学業が一番の目的の場所です。その学業を支える先生方の支援や設備、施設に予算を振り向けていただき、それを削減しない中でのみ、給食導入にふみきっていただきたいと思います。

(意見33)

デリバリー弁当を行う際は、開始前に保護者や生徒への周知はもちろんのこと、教職員に対しても喫食率を高めるための協力依頼を丁寧にしてほしいです。先生の関与の仕方が喫食率に大きく影響すると思います。

(意見34)

全国で93.2%の実施率で、茅ヶ崎市が中学校給食を始めた際、時間を変更するのは当然のことだと思います。生徒や先生方も覚悟してもらうしかないです。

(市の考え方)

教職員の働き方改革につきましては、本市教育委員会においても学校留守番電話による対応、中学校における部活動休養日の導入等を実施してまいりました。

ご指摘の、導入前や導入時などの現場の声の反映、現場対応の困難性、部活動等への影響、学業や施設整備が優先であること、昼食時間の延長などについては、学校運営上の課

題として考えなければならない事項であることから、本「あり方」48 ページの「6. 8. 検討会議等であげられた課題」、及び同 50 ページの「6. 9. 市立小中学校との協議等」でまとめております。しかしながら、実施の際に、教師が生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう工夫すること、及び中学校給食実施に係る食育・安全性・衛生面の観点を説明することで、教職員の理解を深めることが必要であることから、ご意見を踏まえ、次のとおり文言を修正いたします。

◆修正部分の対照表

修 正 後	修 正 前
6. 8. 検討会議等であげられた課題 略 (6) その他 略 ・中学校給食実施への取組を推進する中で、教師が生徒と向き合う時間の十分な確保、及び教職員のワーク・ライフ・バランスの観点から、 <u>教職員の働き方を考慮するとともに、導入前の準備段階からニーズ調査等を進め、丁寧な説明を行う必要がある。</u>	6. 8. 検討会議等であげられた課題 略 (6) その他 略

■実施方式の全般について（5 件）

（意見 3 5）

市長は親子方式を公約に掲げ当選しているのに、デリバリー方式に決定したことに疑問に感じました。また、市内一律で同じ方式とする必要があるのか、市内でも学校毎に親子方式とセンター方式とデリバリー方式の複数の方式を取り入れるような柔軟な対応をとっても良いのではないかと感じました。

（意見 3 6）

一般質問で複数の市議が指摘している通り、給食は食のセーフティーネットであり、学校給食法 4 条を参考に学校給食が実施されるよう努力を求めている。
さらに素案 3 ページに掲載されているが、学校給食実施基準の第一条では
「学校給食を実施する学校においては、当該学校に在学する全ての児童または生徒に対し実施されるものとする」とある。
もはや努力義務ではない。
本来、選択制などありえないのだ。

（意見 3 7）

小学校と中学校が隣のところは小学校でつくり、中学校へ運ぶという方法が良いと思います。隣ではないところは、市の大きな給食を作る場所をつくって、そこから中学校へ発送するか、近くの小学校でつくり、中学校へ運ぶというのが良いと思います。

(意見 38)

全国的にみると中学校給食を実施している自治体の方が多いので、実際に土地がない等の課題を抱えながらも自校式を実現できた事例は探せばあると思います。

本当にきちんと探したのかという点が疑問に感じています。センター方式でもいいのですが、温かくて安全で食物アレルギーにも対応した給食を提供することについて真剣に検討したのかという点が疑問に感じたことと、どうしたら実現できるかという視点で前向きに検討してほしいと感じました。

佐藤市長は親子方式を公約に掲げ市長になられているので、親子方式の実現についても本当にできないのかということを、もう一度検討してほしいと感じています。

(市の考え方)

本市は、アンケート結果を踏まえながら、多面的に調査・研究した5つの実施方式の中、①最も早く全校で給食の運用開始が可能となること、②家庭弁当を望む声へ対応できること、③特別な事情がある場合の教育現場での配慮が可能であること、④日課及び学校内の既存施設への影響を最小限に抑えることができること、⑤比較的財政負担が少ない方式であることから、デリバリー方式を本市に適した実施方式としております。

実施方式を学校毎に親子方式とセンター方式とデリバリー方式の複数の方式を取り入れるような対応などにつきましては、デリバリー方式による中学校給食の実現後、まずは提供後の感想等を生徒、保護者、教職員に聞き、様々な見地から分析をした上で、必要に応じて自校・兄弟・親子・センター方式への変更について、長期的に研究してまいります。

(意見 39)

お金の問題はあると思いますが、他の事業を少しずつでも削って給食にまわしてもらえれば保護者としても茅ヶ崎市は良い街だという印象を持ってもらえると思いますので、実施方式の決定については、もっと真剣に考えてもらいたいと思います。それぞれの方式の費用の比較をしていましたが、金額が大きくイメージが湧かないので、数字ではなくもっと具体的な何かを提示して比較してほしいと感じました。

(市の考え方)

ご指摘のとおり、それぞれの方式の比較につきましては、具体的なイメージを持てるよう記載が必要と考えることから、学校給食実施の状況を詳しく把握するために検討会議が視察した、神奈川県内学校給食施設の視察報告を追記します。

◆修正部分の対照表

修正 後	修正 前
10.1. <u>パブリックコメントの実施</u> 略	10.1. <u>パブリックコメント一覧</u> 略
10.2. <u>学校給食実施施設の視察報告</u> (以下のとおり記載※)	

※ 以下、新たに「10. 2. 学校給食実施施設の視察報告」として記載した内容。

10. 2. 学校給食実施施設の視察報告

茅ヶ崎市中学校給食検討会議・作業部会の委員が学校給食実施の状況を詳しく把握するため、神奈川県内の学校給食施設を表10-3のとおり視察しました。

表 10-3 視察先一覧

視察先	内容
・鎌倉市立岩瀬中学校、ハーベスト鎌倉工場 ・藤沢市立村岡中学校	完全民間委託のデリバリー方式の事例
・厚木市立厚木中学校 ・川崎市南部学校給食センター	センター方式の事例
・茅ヶ崎市立今宿小学校	自校方式の事例

(1) 鎌倉市立岩瀬中学校、ハーベスト鎌倉工場

- ・視察日 令和元年5月22日（水）
- ・給食実施方式 完全民間委託のデリバリー方式
- ・給食費（保護者負担） 1食 330円（牛乳を含む）

○実施方式採用の経緯等

平成25年3月に「鎌倉市中学校給食庁内検討委員会」より、「生徒への提供方法は家庭弁当との併用とする選択制方式による給食とし、提供形態は弁当箱方式とすることがベストな選択」とする報告書が発出されました。これを受けて、公募型プロポーザル等により調理業者等を選定し、平成29年11月から、民間調理場で調理した給食をランチボックス等に盛り付けて各校に配送するデリバリー方式で給食を開始しています。

令和元年度（1月まで）の喫食率は、82.1%を推移しており、概ね好評を受けています。

○給食の流れ

- ・民間事業者の調理場で調理を行う。
- ・トラックで中学校へ配送する。
- ・民間事業者で採用している配膳員が1階にある配膳室で給食を受け取り、配送員とともに弁当箱や牛乳等の数量を確認、仕分けを行う。
- ・給食当番の生徒が1階の配膳室に給食の入った配送箱をとりにくる。（配送員が生徒誘導を行う）
- ・食事終了後、給食当番の生徒が配送箱を1階の配膳室へ戻す。



○特徴

- ・牛乳だけ頼みたいという生徒も給食と同様の予約システムにより予約する。なお、予約システムの利用では、給食費の他に、毎月の口座引落とし及びコンビニ払いにおいて、収納代行手数料が110円必要となる。
- ・各校に2食ずつ予備食を用意している。また主食のおかわりは、各クラス注文した数が7食につき1食分無料で配食される。
- ・食物アレルギーは、原因食品のうち、卵又は乳製品の除去が必要とされた生徒に、食物アレルギー対応食を提供している。（視察時は10食）
- ・民間事業者の工場はHACCPや大量調理マニュアル等に基づく衛生的な施設となっている。

(2) 藤沢市立村岡中学校

- ・視察日 令和元年9月26日（木）
- ・給食実施方式 完全民間委託のデリバリー方式
- ・給食費（保護者負担） 1食 330円（普通盛）・400円（大盛）（いずれも牛乳を含む）

○実施方式採用の経緯等

平成25年1月に「藤沢市中学校給食検討委員会」が発出した、児童生徒や保護者へのアンケート結果等をまとめた検討報告を受けて、平成25年8月の教育委員会定例会で「中学校給食実施にあたっての基本方針」が決定されました。さまざまな課題を踏まえて、できるだけ早期に中学校給食を実施する方法として、「民間業者が調理し配送するデリバリー方式の給食と家庭からの弁当持参の選択制」に決定し、試行期間を経て令和元年10月より市内全校で実施となりました。

○給食の流れ

- ・民間事業者の調理場で調理を行う。
- ・トラックで中学校へ配送する。
- ・民間事業者で採用している配膳員が1階にある配膳室で給食を受け取り、弁当箱や牛乳等の数量を確認、仕分けを行う。
- ・配膳員4名が、配送箱をクラスごとにまとめた台車をEVで各階へ配送し、各階の渡り廊下へ配置した台車を給食当番の生徒が取りにくる。（配膳員が渡す）
- ・食事終了後、給食当番の生徒が、受け取り場所と同じ渡り廊下へ台車を下膳をし、受け取った配膳

員が1階の配膳室まで戻す。



○特徴

- ・普通盛か大盛に牛乳の有無、又は牛乳のみを予約システムで予約する。なお、予約システムの利用では、給食費の他に、クレジットカード払いの場合はシステム利用料が振込金額の1%の金額、コンビニ払いの場合は収納代行手数料が93円必要となる。
- ・各校に5食ずつ予備食を用意している。また主食・汁物のおかわりは、各クラス注文した数が4食につき1食分無料で配食される。
- ・北部と南部で業者を分けて運用しているが、献立は市栄養士が作成し、同一の給食内容としている。
- ・在校生や保護者、小学6年生等を対象にアンケートや試食会等を開催して、喫食率の向上を図っている。

(3) 厚木市立厚木中学校

- | | |
|-------------|----------------|
| ・視察日 | 令和元年7月11日（木） |
| ・給食実施方式 | センター方式 |
| ・給食費（保護者負担） | 1食 290円（牛乳を含む） |

○実施方式採用の経緯等

平成11年度に小学校を共同調理場から単独調理場に移行することを決めたのち、中学校給食についても市民要望が高まったことを受けて、北部学校給食センターを改修して平成19年度からセンター方式で運営しています。市内に2か所ある給食センターは老朽化が進んでいることから、令和4年度を目途に給食センターの新設を目指しています。

○給食の流れ

- ・南部学校給食センターで調理を行う。
- ・トラックで中学校へ配送する。
- ・委託契約の配膳員が1階にある配膳室で給食を受け取り、食缶や牛乳等の数量を確認、仕分けを行う。
- ・配膳員8名がEVで各クラスの前までクラス毎のワゴン運び、各階の配膳員は生徒が教室内に引き込むまでワゴンを見守る。

- ・食事終了後、給食当番の生徒はエレベーター前までワゴン車を持っていき、配膳員が受け取り、エレベーターを利用して1階にある配膳室に戻す。



○特徴

- ・市内中学校13校のうち9校を北部学校給食センターで、4校を南部学校給食センターで調理している。また、南部学校給食センターでは市内小学校23校のうち6校も調理している。
- ・北部学校給食センターは、食中毒発生時のリスクの軽減、また調理効率のため揚げ物と焼き物で献立を分けるよう主菜のみ2種類調理する2献立方式となっている。
- ・食物アレルギーには対応しておらず、食物アレルギー詳細献立を配布して、家庭からお弁当を持参してもらうこととしている。
- ・米飯が委託になっている。（単独調理場方式の小学校は自校で炊飯している）

(4) 川崎市南部学校給食センター

- ・視察日 令和元年10月7日（月）
- ・給食実施方式 センター方式（川崎市南部学校給食センター）
- ・給食費（保護者負担） 1食 320円（牛乳を含む）

○実施方式採用の経緯等

平成25年11月に川崎市教育委員会会議において「川崎市立中学校給食の基本方針」を決定し、中学校給食への取組を進めることとなり、「中学校給食推進会議」「中学校給食推進連絡協議会」を設置し、検討を進めました。平成26年に「川崎市立中学校完全給食実施方針」において、3カ所の学校給食センター等を整備して中学校全校で完全給食を実施することを決定しました。平成29年度より完全給食の全校実施となりました。学校給食センターは全てPFI方式で2年間程で整備されています。

○給食の流れ

- ・川崎市南部学校給食センターで調理を行う。
- ・トラックで各中学校へ配送する。
- ・委託契約の配膳員が食缶等の数量を確認、仕分けを行う。
- ・給食当番の生徒が配膳スペースに取りに来る。
- ・喫食終了後、給食当番の生徒が配膳スペースに戻る。



○特徴

- ・PFI方式で整備されており、HACCPに沿った衛生管理が徹底されている。
- ・川崎市では、南部学校給食センターのみ見学通路があり、調理や衛生管理の様子を見ることができ
る。又、約2日分の米を施設内に保管しているので、災害時の炊き出しとして米を使用することも
できる。
- ・食物アレルギー対応食として、卵・乳・小麦は除去食として対応している。（えび・かに・落花生・
そばは食材として使用してない）
- ・配膳室から教室までの食缶や牛乳等の運搬は手運びを基本としているが、既存のエレ
ベーターを活用して運搬を行っている学校もある。

(5) 茅ヶ崎市立今宿小学校

- ・視察日 令和元年7月2日（火）
- ・給食実施方式 自校方式
- ・給食費（保護者負担） 1食 250円（牛乳を含む）

○給食の流れ

- ・学校敷地内の給食調理場で調理を行う。
- ・調理員が食缶等をワゴンにのせ、各階の配膳室に給食を運ぶ。
- ・給食当番の児童が各階の配膳室にとりにくる。
- ・食事終了後、給食当番の児童が食器等は各階の配膳室まで戻し、ボールや食缶等の容器は1階の配
膳室まで戻す。



○特徴

- ・平成31年4月から供用開始した自校方式の調理場であり、スチームコンベクションオープンなどの最新の厨房機器が整備されている。
- ・食物アレルギー調理コーナーを設け、食物アレルギー原因食品を除去した給食にも対応している。
- ・共同調理場方式から自校方式となった際、アルマイト食器からえぼし麻呂のイラストが印字されたPEN食器を使用している。
- ・児童が校庭から調理場内を見学できるスペースが設けられている。

(注) 給食費について

学校給食の実施に必要な経費の負担については、学校給食法の第11条、同法施行令第2条に規定されています。

学校給食法

(経費の負担)

第十一条 学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費のうち政令で定めるものは、義務教育諸学校の設置者の負担とする。

2 前項に規定する経費以外の学校給食に要する経費（以下「学校給食費」という。）は、学校給食を受ける児童又は生徒の学校教育法第十六条に規定する保護者の負担とする。

学校給食法施行令

(設置者の負担すべき学校給食の運営に要する経費)

第二条 学校給食の運営に要する経費のうち、法第十一条第一項の規定に基づき義務教育諸学校の設置者が負担する経費は、次に掲げる経費とする。

一 義務教育諸学校において学校給食に従事する職員（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第三十七条（同法第四十九条、第四十九条の八及び第八十二条において準用する場合を含む。）又は第六十九条の規定により義務教育諸学校に置かれる職員をいう。）に要する給与その他の人件費。ただし、市町村立の学校にあつては、市町村立学校職員給与負担法（昭和二十三年法律第百三十五号）第一条の規定により都道府県の負担とされる経費を除く。

二 学校給食の実施に必要な施設及び設備の修繕費

内訳についてまとめると表10-4のとおりとなります。

表10-4 給食に係る費用について

経費区分	負担行為	内訳
食材料費	保護者	パン・米飯・牛乳・おかず等
光熱水費	保護者 (設置者) ※	調理等に要する費用
施設設備費	設置者	学校給食用の施設設備費用
修繕費		上記の修繕費用

	人件費		学校給食に従事する職員に要する給与等	
--	-----	--	--------------------	--

※昭和四十八年六月文部省体育局長「学校給食の実施に関する事務処理および指導の指針について」において、「光熱水費については学校の設置者の負担とすることが望ましい」とされていることから、本市の小学校給食においては食材料費のみを徴収しています。

■選択制デリバリー方式について（３６件）

（意見４０）

小学校の生徒数減少があるため、親子方式が良いと思っておりましたが、資料を読み、選択制デリバリー方式がベストだと思いました。

できるだけ早い実施を望んでおります。

（意見４１）

子供達（小学生）は給食の時間をとても楽しみにしています。中学校のなっても、クラスメイトと楽しく食事をする時間であってほしいです。給食を導入することで、会話が増えたり共通の話題を持てるようになるかもしれません。選択制デリバリー方式ならお弁当を持参することも選べていいですね。

（意見４２）

選択制デリバリー方式には反対です。中学生にきちんと給食を出すべきです。その上で、方式を検討すべきです。教育の均等性からいつでもなるべく早く実施すべきです。

（意見４３）

中学校の敷地内に、給食を調理・配膳するために必要な施設をつくる場所がない現状を考えると、完全民間委託のデリバリー方式で、提供方式は弁当箱方式が妥当だと思います。

しかし、学校で提供される給食は、商業的に行われている街の弁当屋さんとは異なります。

実施方式が完全民間委託のデリバリー方式であっても、目指すべき給食の内容は、小学校で提供されているような給食であると考えます。

その上で、茅ヶ崎市への私の意見は以下の５つです。

１．食べたいと思える給食

他市では、冷たくかたいハンバーグが提供された例もあるようです。

味、見た目、冷たいものは冷たく、温かいものは温かくなど、子どもが食べたいと思える給食であってほしいです。

２．昼食にかかる時間の確保

弁当箱方式の提供であっても、給食を導入することで、これまではなかった運搬、配膳、片付けの作業が増えます。

そのため、運搬・配膳・食事・片付けの時間を確実に確保できる日課に変更する必要があります。

給食を導入したために、食事の時間が短くなってしまった、ということがないようにしてほしいです。

3. 栄養士による指導

中学校の給食は義務教育内で提供されるものです。

完全民間委託であっても、市が栄養士を配置するなど、バランスのとれた献立であってほしいです。

4. 弁当の内容量を調節できること

性別、体格、運動量、もともと食が細いなど、個人により食べる量は異なります。家庭の弁当はもちろんですが、食缶方式なら、初めに減らしたり、足りない人はおかわりしたりして食べる量を調節することができます。

同様に弁当箱方式であっても、内容量を調節できるようにしてほしいです。

5. アレルギー対応が可能であること

アレルギーのある生徒は弁当を持参しなければならない、ということがないよう、アレルギー対応が可能な民間事業者を選んでもらいたいです。

茅ヶ崎市を含めて、神奈川県内では長年にわたり、中学はお弁当という意識が根付いてきました。

しかし、今後は、子どもたちのよりよい中学校生活のため、また、保護者の負担軽減のため、中学校給食に期待しています。

(意見 4 4)

茅ヶ崎では過去に何度か注文制弁当販売を試行している。

平成 16 年は人件費がかさみ撤廃。

10 年後の平成 26 年は梅田中、赤羽根中で弁当を販売するが平均 14.1 個、17.1%の利用率。

翌年には松浪中、浜須賀中も加わり、業者を大手コンビニ会社に変更し販売。

結果、松浪中 4 月 2 件、5 月 4 件、6 月 2 件、7 月 6 件数。浜須賀中においては利用者なし。

梅田中、赤羽根中では継続が難しいため平成 27 年に中止している。

教員が注文している弁当屋を検討するなど、試行錯誤しているが失敗とっていい結果となっている。

(意見 4 5)

「はじめに」

ここに書かれているように、「学校給食は、安心で安全な栄養バランスの取れた昼食の提供と食育の推進をする必要があります。」にもかかわらず、今回方向性として提示された「デリバリー方式」では、公的責任を放棄し、栄養士も設置されず、食育の推進もままならない状況です。

ただ単にお金の問題で方向性を決定したことが明白です。

(意見 4 6)

デリバリー方式には反対です。

育ちざかりの子どもたちに何が一番良いのかを考えて多少の困難を解決するのが本当ではないですか？

給食も教育の一環です。民間委託は不安です。

(意見 4 7)

4.6 完全民間委託のデリバリー方式の検討

4.6.2 施設整備の方法 (28 ページ) を読むと市外の業者も検討していることが分かる。

16 ページに戻れば、完全民間委託のデリバリー方式でも調理完了終了後 2 時間以内の喫食を目指していることが書かれている。

他自治体では 1 年半で 100 件を超える異物混入があった。委託業者が市外にあり、運搬に 1 時間ほどかかるため、スピードアップが求められたが、予算が少なく、調理終了後のチェックをする人件費に予算が割かれなかったのも原因の 1 つだと考える。

時間がかかればかかるほど、異物混入のリスクは高まる。2 時間以内であれば良い、ということではない。

(意見 4 8)

中学 1 年生と小学校 2 年生の母です。

中学校給食については、以前から導入希望しておりご検討いただき感謝しております。

自校・兄弟・親子方式については、敷地の問題等により困難であることは理解できましたが、センター方式とデリバリー方式どちらかの検討では、デリバリー方式ありきで話が進んでいるように感じました。

給食センター建設に伴う余剰設備の利用方法はもっと議論すべきだと思いますし、機器等の老朽化は建設すれば当たり前に発生する事だと思います。

しかし、最終的に最低限のコストで実施可能性の高い「選択制デリバリー方式」となった事は、仕方のない事なのかなとも思います。

懸案事項となっていた「個人に適した量」については、家庭からおにぎりやパンを持ってくれば解決すると思います。

保護者としては、弁当を作る手間もそうですが、一番気になるのは栄養面と衛生面です。

特に衛生面について、夏に弁当を持たせる時は保冷剤や冷凍食品をそのまま入れるなど工夫はしていますが、真夏や梅雨時の教室に 6 時間も放置されている弁当を食べて食中毒を起こさないかとても心配になります。

その点、デリバリー方式だと食中毒のリスクも減りますし、選択式だと夏はデリバリー、冬は弁当持参など臨機応変に対応できるので、その点は良いと思います。

あとはデリバリー方式によるお弁当の質 (バランスや味) を確保して頂きたいです。

一日でも早く中学校給食が実現できるよう、今後ともよろしくお願いします。

(意見 4 9)

今春、長男が市内公立中学に入学します。親子方式での給食を期待していたので、正直とても残念です。物理的に無理があるとのことで、デリバリー方式になるそうですが、デリバリーの内容で問題になっている他自治体のデリバリー弁当など、良いニュースが入ってきません。茅ヶ崎のデリバリーの内容がとても気になります。できるだけ茅産茅消の食材、安全に配慮した食材と調味料で食べ盛りの子どもたちがおいしく食べられる弁当が選べるととてもうれしいです。どこの業者が入るのか、市民の意見を取り入れ、全国からも注目されるようなデリバリー弁当になることを期待します。茅ヶ崎だからこそこできること、さすが茅ヶ崎の中学給食は一味違うね！と言われるよう、制度だけではなく、内容にこだわって欲しいです。よろしくお願いします。

(意見 5 0)

中学校給食は、今、市が進めようとしているデリバリー方式は反対です。小さな子どもがいるので説明会へは時間帶的に難しく、参加できませんでしたが、参加した人から話を聞くと、市の予算がないことを筆頭の理由に、デリバリー方式しか現実的ではないような話だったと聞きました。

確かに、とても大きなことなので予算がなければ話は進まないのかもしれませんが。

しかし、本当にお金を掛けるべきなのは、未来を担う子どもたちの命と健康ではないでしょうか。それこそ、市の大きな財産だと思います。

また、デリバリー方式は他自治体で大きな問題になりました。中学校給食を導入していきたい本来の意義からすると、望ましい方法とは思えません。少ない予算で利益を得なければならぬ委託業者が、小学校給食レベルで食の安全とおいしさ、温かさを提供できるとも思えません。食は成長期の子どもたちのからだを作る基礎です。予算からではなく、子どもたちや親たち、市民の目線から考えてください。

(意見 5 1)

デリバリー方式（完全民間委託）とした場合、アレルギー対応、食中毒対応、遺伝子組み換え食物除去対応ができる業者に限るべきです。また、アレルギー対応が不十分で児童にアナフィラキシー等の症状が出て、最悪の場合死に至るケースがあることから、民間業者との契約書には、事故が発生した場合の罰則（賠償金も含めて）をきっちり明記して下さい。それができなければ予算の無駄遣いの為、中学校給食は実施しなくても良いです。

(意見 5 2)

佐藤市長になり、中学校給食に対する検討委員会を立ち上げて下さり、心より感謝申し上げます。また、当会議に忙しい中出席していただいた委員の皆様おつかれさまでした。素案の内容を読ませていただいて、大変な作業等を行っていたことが伝わってきました。服部市長時代にも中学給食委員会があったのですが、結局内容合意ができずに解散となってしまいました。そして市長交代により、また中学給食に理解を示しているこ

とに嬉しく思いました。今、中学生の男子をもつ母ですが、この冬には冷めたお弁当に息子へスープジャーを付けてあげると喜んだこと。息子は寒い時ぐらい温かいご飯が食べたいと言っています。私もその意見には賛成です。息子は中島中に通学していますが、私がお弁当を作らないとコンビニ弁当を買って登校になります。しかしそれでは部活までお腹がもたないということで、自分も体調を崩さないよう学校の日はお弁当作りをしています。これは他の家族でも同じ思いでお弁当作りをしていると思います。

5案出した中で、「アレルギー」、「食中毒」の問題を考えたりすると「選択制デリバリー方式」が妥当だと思います。実際やってみないとわからないと思いますが、予算も考えて民間企業の協力を得るのは必要でしょう。

業者との意見を含め、合意になればいいなと願います。もし中学給食開始となればその時うちの息子は卒業してしまいますが、これからの中学へ上がる子供たちのために中学給食の実施を期待したいと思います。

(意見53)

中学校給食はぜひ実現してほしい。

市は長年にわたって、小学校の自校方式の給食を実現する事に努力してきました。そして次の様に評価しています。

- ・出来たての温かい給食の提供
- ・専用の調理コーナーを設置して、アレルギー児童への対応が安全できめ細かくできる
- ・校内に調理場があることで、児童と調理担当職員、日常的に交流し、給食を活用した食育を取り組めるようになったなど、学校給食法の主旨に添った評価をしています。

中学校給食も同じ考えで進めていただきたい。小学校給食を進めてきた努力が生かされず、拙速に進めれば、後々悔いを残す。

デリバリー方式は、業者弁当で給食とはほど遠いものです。

単なる昼食の提供ではなく、学校給食法に基づく食育の理念のもと地産地消を取り入れた食育教育と時間をかけても自校方式の中学校給食を追求すべきです。

一旦デリバリー方式を決定したら変更(改善)をするのはむずかしい。

これからの子供達のために、より良いものを提供してほしいし、デリバリー方式は再考してほしい。

(意見54)

中学校給食は、子どもの発達において、どの子にも与えられる健康のセーフティーネットとして必要です。

今回の素案は、現状で実現可能な方法の検討しかされておらず、長期的に見ての判断が必要で、中学校給食は自校方式で行われることを必要と考えます。それに向けてどのような計画を立てて進めるかが示されるべきです。

子どもたちの生命の維持装置としての役割から、デリバリーで民間に配食をゆだねることは大変な不安を継続させることになります。デリバリー方式は反対です。

温かい給食で、皆で同じものを食べることが成長期の中学生にとって大事です。デリバリーと弁当の選択を迫ることは、子どもの間で、格差を助長することになります。

アレルギー児童への対応など、きめ細かな対応は、自校方式でなければ困難です。

他自治体の例でも検証されていますが、デリバリー方式は民間のコスト優先にならざるを得ないことから子どもにとっての安全性が保障されません。

デリバリー方式の導入は反対です。

(意見 5 5)

国が食の安全基準を下げている中、中学校給食も安心、安全である事が義務であると思います。献立の材料の開示だけでなく、生産地、生産者、ゲノム編集食品を使わない事、農薬耐性の米、麦を使わない事、遺伝子組み換え食品を使わない事を前面に打ち出して、中学校給食を実現していただきたいです。

茅ヶ崎は美味しい野菜を作る農家さんが多いので農家さんも巻き込んで、質の高い全国トップクラスのものにして下さい。

財政難を強調してばかりでなく。

出来ない理由を長々と説明するのではなく。

デリバリー弁当は仕出し弁当ではなく、

作り手のやる気次第で、美味しいものが作れます、という事をアピールし、市民を安心させて欲しいものです。

(意見 5 6)

拝見させていただきました。まず、小学6年生の不安なことに「親のお弁当が食べられなくなる」と挙げられていたこと、そして小6、中2双方に「親の負担が減ること」を上部に挙げられていたことに泣けてきました。私自身、子どもが自分の作ったお弁当を食べてもらえる期間は、もっていつてほしいと感じます。皆様が挙げられていたように添加物だらけ、どの産地かもわからないものを食べさせたくはないと感じます。もし選択制のデリバリー方式をとられるのであれば、他自治体のように、添加物に配慮した給食や、無農薬はむずかしくても、低農薬など安全性をしっかりとわかるようにしていただきたいです。いろいろ書きまして申し訳ありません。

(意見 5 7)

ご飯にかかる時間は自分自身が中学生だったとき焦らされて食べた記憶があり、短い時間で食べてもらうのは生徒達にとってよくないと思います。デリバリー方式であっても食事の時間を多めにってあげていただきたいです。

(意見 5 8)

デリバリー方式になった際、量の問題について考えて欲しいです。

(意見 59)

早期に実現可能なデリバリー方式に賛成します。市民としてはとにかく早く実現してほしいです。考えられる課題を1つずつ整理していけば、デリバリー方式でも満足のいく実施が可能だと思いますので、早期の実現を希望します。

(意見 60)

安定した食事提供をうける恩恵は親子ともに非常に高いと思います。

6年生児童・中学2年生徒・それぞれの親へのアンケート結果を見ても親は早急な給食実現を望んでいます。(小学生児童の親の私も同意です。)

施設の問題として小学校式の給食の提供がすぐにできないのであれば、お弁当式の給食提供も選択肢の一つとしても良いのでは。

地元企業と提携することで、地域産業の活性化も期待できる。

(市の考え方)

本市の中学校給食では、「学校給食法」に基づく給食の実現を前提としております。

そのため、デリバリー方式にて給食を開始する際にも、民間事業者に給食事業を全て委任するのではなく、市の栄養士が監修し、中学校給食運用方法を本市で定め、専門民間事業者と契約を行うことを考えております。

このことにより、市の栄養士が献立作成を行い具材の配合等の指示や調理の立ち会いをするなど、現場の中核で確認を行うとともに、専門民間事業者の給食調理のノウハウを活用することにより、弁当箱方式において、給食本来の味わいを生徒にお届けできると考えております。

また、①食育、②食物アレルギー対応、③食材、④昼食時間の十分な確保、⑤温かい給食、⑥給食の量、⑦民間事業者の調理施設、⑧給食の事前予約システム、⑨中学校給食の実施に伴う必要な雇用などの運用全般に係る事項や、いただきましたご意見につきまして、中学校給食の実現に向けた今後の取組の中で、参考とさせていただきますとともに、行政としての様々な課題に当てはめていきながら検討を進めてまいります。

なお、いただいたご意見を踏まえ、次のとおり文言を修正いたします。

◆修正部分の対照表

修 正 後	修 正 前
9. 実施方式のあり方 略 なお、本市の中学校給食では、安全で安心な、 <u>栄養バランスのとれた昼食の提供と食育の推進のため、主食・おかず・ミルクで構成する完全給食を提供するとともに、専任の栄養士等を配置し、食育・安全・衛生の視点を踏まえた「学校給食法」に基づく給食の実現を前提としております。</u>	9. 実施方式のあり方 略 <u>また、多くの児童生徒に食べてもらえるよう、安全で安心な栄養バランスをとるとともに、量、味わい、見た目の良さなど期待が膨らむような給食の充実を図りたいと考えます。</u>

また、多くの生徒に食べてもらえるよう、量、 味、見た目の良さなど期待が膨らむような給 食の充実を図ります。	
具体的には、①食育、②食物アレルギー対応、 ③食材、④昼食時間の十分な確保、⑤温かい給食、 ⑥給食の量、⑦民間事業者の調理施設、⑧給食の 事前予約システム、⑨中学校給食の実施に伴う必 要な雇用などについて、本市小学校給食や先行す る他自治体の効果的な取組を参考に、運用方法を 本市で定めてまいります。	
略	略

(意見 6 1)

11 歳と 6 歳の子供がいるシングルマザーです。上の子は来年、中学生になります。急いで給食を実施していただきたく、意見させていただきます。

仕事はフルタイム、終わらない時は持ち帰り家でも行います。朝起きた瞬間から眠りにつくまで毎日バタバタしています。1 日の睡眠時間は 5 時間です。朝食は家で食べてから通学させるように、夕飯は出来るだけ家で作るようにしています。が、これに加え毎日お弁当となると、どうすればいいのかわかりません。

部活もはじまり、食欲も増え、一番栄養が必要な時期ですが家庭の状況によりお弁当の中身にもかなりの差がでるのではないのでしょうか？等しく学校生活を送らせてあげたいです。親としても朝、少しでも余裕をもって送り出してあげたいです。給食になる事で親の不安も軽減できると思います。

是非とも茅ヶ崎市でも給食化をお願いします。

すぐに実現することが難しいのであれば繋ぎの対策として、ちがさき学童保育の会がサマースクールなどで実施してくれているように事前にメニューをみて希望日にお弁当を注文出来るような制度であれば、可能ではないかと思います。

ご検討いただけますよう、どうぞよろしくお願い致します。

(意見 6 2)

小学校 4 年生の子供がいます。再来年には中学校に入学します。

給食は市長の公約だったはずです。子供の入学までに必ず実現して下さい。

時間がかかるのであれば方式は問いません。先延ばしにだけはしないで下さい。

また、入学予定の松浪中学校には弁当販売もあると聞きました。

どうしても給食の実現が難しいようであれば、弁当販売を継続してください。

選択肢が何もないのが一番困ります。

夫婦フルタイムの共働きでもう一人子供もいます。

どんな形でいいので学校で昼食を提供できるようにして下さい。

(意見 6 3)

民間デリバリーに賛成です。実施までかなり年数を費やしている感が否めないです。それまでの間、つなぎとして、市内パン会社、パン屋へ惣菜パンの予約販売、出張販売をお願いすることはできないのでしょうか。自身、隣の自治体で、中学校通学時、湘南堂のパンを朝予約&支払いをし、その日の昼にパンを受けとり牛乳を食していました。ご検討ください。

(市の考え方)

ご意見にあります中学校給食の実施までの間の、給食の代わりとなるお弁当やパンなどの販売につきましては、中学校給食の実現に向けた今後の取組の中で、参考とさせていただきますとともに、行政としての様々な課題に当てはめていきながら検討を進めてまいります。

(意見 6 4)

方向性としては予算や設備等の確保や、子ども一人ひとりの成長の仕方が違うことを考えると、「選択制デリバリー方式」が現実的かと思います。

給食かお弁当かの二者択一ということではなく、子どもによっては給食で足りない分を持参する。また前・後期、月ごとなど選ぶ機会があると良いと思います。

(意見 6 5)

理想=半分給食、半分お弁当 (E X 月水金 給食・火金 お弁当とか)

理由=皆と同じ物を食べる食育&親子間の愛情わかり合う。両方できるから。

曜日で選べる給食又は配付お弁当 (前日に選ぶとか年度始めに 1 年分決めるとか。)

(意見 6 6)

選択制にした場合、デリバリーにした生徒は 3 年間または 1 年間デリバリー、お弁当にした生徒もやはり毎日持参なののでしょうか？

それとも日々 (ある意味気ままに) 変更可能なのでしょうか？

その煩雑さは容易に想像できます。お弁当を忘れた生徒あるいは注文を忘れた生徒など本来の勉学に身が入らないだろうと思いますが。

時間がかかってもお金がかかっても未来ある若い人達の事を一番に、その人達を育てている保護者の事も考えて決めていただきたいと思います。

(市の考え方)

デリバリー方式の給食の予約につきましては、他自治体において、入学時に卒業までの一括や、1 ヶ月単位または希望の日を選択できる運用がなされており、予約方法もパソコン、スマートフォン、マークシートのいずれかの利用が可能でしたので、本市においても事前予約システムは、予約や給食費支払いの方法、申込期日など利便性を意識した構築を検討してまいります。

また、給食の予約を忘れた場合には、他自治体では、各学校にあらかじめ用意した予備食を食べてもらい、後日、予約システムで支払うことが可能となっており、それらを参考

に運用を検討しております。

なお、予約の対応期日を含む運用全般に係る事項につきましては、今後検討を行う中で
の参考とさせていただきます。

(意見 6 7)

これから少子化が進んでいく中で、設備費に税金をかけすぎて、数年後数年後に、活用しきれない気がしません。それぞれの中学校で施設整備をととのえてというのも無理があると思いました。親として軽い気持ちで「給食」を願っていましたが、素案に目を通して見て、センター方式かデリバリー方式しかないのではないかと思います。保健所の東側の給食センターは使えないのでしょうか？市内で偏るのもどうかと思ったので、同時スタートが出来るといいと思いました。EVは活用の仕方があると思いますし、各校に給食場を設置するより、低コストではないでしょうか。ただアレルギーがなく、好き嫌いも少ない子供を持つ私ですので、センター方式、デリバリー方式のデメリットはあまり感じていません。

給食を希望していますが、親のお弁当を食べる機会がどんどん減ってしまうさみしさも感じるところです。親の作るお弁当も冷めていますし、デリバリー方式、センター方式のデメリットと同じです。

親として、子供の愛情たっぷりのお弁当を作る義務もあると思いますので、時には手抜き、一休みできる様、選択制デリバリー方式を希望します。

(市の考え方)

本「あり方」26 ページの「4. 5. センター方式の検討」に示すとおり、本市の中学校生徒の食数 6500 食の調理能力を有する給食センター建設のための、望ましい面積は約 7000 m²と試算しておりますことから、学校給食共同調理場跡地につきましては手狭であると考えております。

また、デリバリー方式ではエレベーターの設置につきましては、必須ではないと考えており、エレベーターを設置せず運用している他自治体の事例もあることから、これらを参考に適切に検討してまいります。

(意見 6 8)

デリバリー方式は近隣市でも実施していることから、他市の事例を十分に調査し後発のメリットを最大限に活かしてほしいと思います。

(意見 6 9)

小学校でみんな仲良く食べていた給食が、中学生になったとたんを選択制デリバリー方式では最悪の方向だと思います。

他市町村でも、全国的にも評判の悪いものを茅ヶ崎市で実施することはないと思います。未来ある子どもたちの成長発展、発育の為にもデリバリー方式は採用すべきではありません。不要不急な「道の駅」はいりません。中学校給食に財源確保をして下さい。

(意見 70)

デリバリー方式なら、他自治体が失敗した理由をしっかりと考えてほしいです。どこに問題があったかを分析して進めてほしいです。

(市の考え方)

他自治体の中学校給食の評判、喫食率、課題、見直しなどを研究することにつきまして、今後の検討においても大変参考になると考えております。引き続き、様々な他自治体の中学校給食について調査・研究してまいります。

また、いただきましたご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、行政としての様々な課題に当てはめていきながら検討を進めてまいります。

(意見 71)

デリバリー方式は金額が一番安い反面、一番リスクが高いと考えています。建物を建てた後に失敗したとなると施設に投資した税金が無駄になってしまうと感じます。

契約期間についても30年間は長すぎると感じます。

(市の考え方)

デリバリー方式は、民設民営方式で、民間事業者の調理施設で調理した給食を中学校へ配送する方式となります。調理施設は、民間事業者が所有の既存、または新たに建設するもののいずれかが想定されます。市が建物を建設するものではありません。

しかしながら、民間事業者の選定では、経営や信用の状況、不誠実行為の有無、実績、業務遂行能力などに留意し、適正な業者であることを判断する必要があると考えております。

また、契約期間につきましては、本「あり方」33ページの「6. 実施方式の評価」に示した概算総事業費の比較において、全ての実施方式で同じ条件及び考え方とするため、維持管理・運営期間につきましては30年間を想定したものです。

デリバリー方式の民間事業者との契約内容及び期間につきましては、今後適切な導入要件を検討してまいります。

(意見 72)

【弁当方式 → 自校方式への段階実施の視点】

速やかに中学校の給食を開始するためにはデリバリー方式が優れていることは理解した。しかし、子供の立場に立った場合、自校方式が最も温かく出来たてを食べられる点で、優れているのは誰しも認める部分である。

速やかに中学校給食を開始するためにデリバリー方式を採用するとしても、そこで終わりにせず、将来的には自校方式に集約させることを目指す視点も持っておいてもらいたい。

(意見 73)

中学校での完全給食を希望します。

現在市内の小学校で我が子が毎日給食を頂いています。とてもおいしいようで、毎日おかわりも沢山しているようです。わかめご飯が1番のお気に入りだそうです。

働く母親として、夏休み等は毎日お弁当を作っていますが、子ども達からは「早く給食が始まって欲しい」と言われます。バランスのとれた温かいものを温かいまま食べさせて頂けるというのは幸せな事ですし、食育にも通じると思います。

選択制の外注化はあくまで段階的な措置としてご考慮いただきたいです

(市の考え方)

給食実施後においては、運営等の検証が必要と考えますので、生徒及び保護者の味や利便性の意向を定期的に確認し、継続的に改善に取り組めます。

デリバリー方式による中学校給食の実現後、まずは提供後の感想等を生徒、保護者、教職員に聞き、様々な見地から分析をした上で、必要に応じて自校・兄弟・親子・センター方式への変更についても、長期的に研究してまいります。

(意見 7 4)

中学校給食ぜひ実施してほしいので限られた財源の中でできればPFI方式で実施を検討してみたいでしょうか。デリバリー方式（完全民間委託）による選択式の中学校完全給食は賛成です。デリバリー方式 例・鎌倉市・藤沢市・横浜市（ハマ弁方式）。

(市の考え方)

中学校給食の事業につきましては、PFI方式やリース方式、民設民営方式などの多様なPPP/PFIの導入（公民連携の事業手法）の可能性を検討する必要があることから、本「あり方」では、本市の「公民連携推進のための基本的な考え方（平成29(2017)年1月改訂）」及び「時代に即した行政経営の基本方針2017（C3成長加速化方針）（平成29年2月）」を踏まえて、多面的な調査・研究などをしてまいりました。

その上で、民設民営方式（完全民間委託）のデリバリー方式が、5つの実施方式の中でも本市に適した実施方式のあり方としております。

(意見 7 5)

(第8章) 検討会議の一定の方向性、(第9章) 実施方式のあり方にあるよう「選択制デリバリー方式」関連方策等と十分連携し、推進して欲しい。(デリバリーが出来たら日本語でも)

また、その理由も(第8章) 検討会議理由に記されて内容を配慮して実施して欲しい。

(市の考え方)

いただきましたご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、具体的な、行政としての様々な課題に当てはめていきながら検討を進めてまいります。

■選択制喫食について（10件）

(意見 7 6)

娘が中学校に通っていた際、中学校弁当の試行が実施され何度か注文をしましたが、しばらく経つと注文をしなくなりました。理由としては、昼食時間の短さが原因でした。

他の生徒が鞆からお弁当を取り出して食べ始めるタイミングで、自分は弁当を受け取りに行かなければならず、食べる時間が他の生徒と比較してとても短くなってしまったという理由で注文をしなくなりました。

選択制デリバリーを実施する際は、1週間のうちに全員がデリバリー弁当を食べる日を指定する等の工夫をしてほしいです。

(意見 77)

現在、中学に通っている子供に昼食の状況を聞くと、毎日菓子パンを食べている生徒もいるとのことなので、早くそのような生徒が1食でも栄養バランスの取れた昼食を取ることができるになると良いなと思います。また、デリバリー弁当を注文する生徒が目立つことのないような環境をつくってほしいと思います。

(意見 78)

デリバリー弁当を注文する生徒と家庭からの弁当を持参する生徒の間に差別的な意識が生まれないように配慮してほしいです。デリバリー弁当を注文する生徒数が多くなればそのような事態は発生しないと思うので喫食率を高める努力を市もしてほしいです。

(意見 79)

他市の事例をテレビで見た際、喫食率の低さの原因として、周りの生徒が注文をしないなかで、自分だけ注文をすることが恥ずかしいという意見が生徒から出ていました。このような事態が起きないように対策を検討してほしいです。

(意見 80)

喫食率について。

費用見積もりなど6割を想定しているが、果たしてそこまで届くのか。

他自治体では約8割と非常に高い。そこにはさまざまな工夫がある。

市内に調理場があるため配送時間が短い。

また説明会を中学校9校で実施し749人が参加。21.9%の参加率だ。また給食ニュースの発行やyoutubeでの動画配信をして啓蒙を重ねている。

茅ヶ崎はどうか。

子を持つ保護者が参加しにくい午後の時間帯のみ。参加率はいかばかりか。ごく一部と言っているほどだろう。

市民が関心をもてる工夫が感じられない。

さらに現在請け負える弁当調理事業者が市内にはない。

他自治体では中学校給食開始された平成26年(2校のみ実施)32.9%が最高で、平成30年(13校が実施)では29.7%と低迷している。

デリバリー給食を食べている生徒が、家庭になんらかの問題があるのでは、と他の生徒から勘ぐられるという状況にならない為にも喫食率を上げるための工夫を凝らすか、選択制デリバリー方式は避けるよう検討いただきたい。

(意見 8 1)

事業の開始前に保護者に対しても試食会のようなものを実施していただきたいと感じました。

(意見 8 2)

選択制デリバリー方式ということが少し引っかかっていて、なぜ原則的に全員にしなかったのでしょうか。おっしゃっているようにアレルギー対応や家庭からの弁当持参を望む声を受けてのことということは理解できますが、原則全員喫食にして、事情のある場合のみ家庭からの弁当持参とした方が受け入れやすいかなと感じました。

(意見 8 3)

親の負担が減る、温かい食事が給食ではないと食べられないといったご意見が出ています。なるほどなと思います。今私の子どもは2歳で保育園の給食をいただいています。私個人の意見として、親のお弁当が食べられなくなって、寂しいという、子どもの意見も聞かれているのをみて、お弁当は続けて欲しいと思います。食の安全、放射能問題、子どもがアレルギーなのでのそういった問題も気になります。選択制というのであれば、いいのかもしれません。まわりがみんな選択制の給食で自分だけお弁当。というような、まわりに流されるのであれば基本、お弁当がいいなと思います。

(意見 8 4)

給食選択制は段階的には仕方ないかもしれませんが、最終的には全員給食にして頂きたいです。

(意見 8 5)

給食の意義や目的をみると、選択制だと生徒全員にその目的や意義が行き届かなくなると思います。しかし、実現可能なことを進めていただくことが1番なので、方針に反対という訳ではないですが、現在も経済的理由でお弁当を持たせていない家庭がいるとなると、その家庭がお弁当も持たせず、給食も選択しないという選択をすると、結果的に給食がないという生徒が出るのではないかと心配です。

また、給食を食べる時間が20分位しかないという中で、生徒が、逆に20分食べなければいいだけなので食べないという話も聞いています。家庭でも、弁当を忘れたら20分しかないのでは学校にも届けないという保護者の方もいると聞いているので、そのような事情を考えると、今普通にお弁当を食べている生徒ではなく、お弁当を持ってこられない生徒を重視することが、意義や目的に沿った学校給食になると思いますので、考慮していただければと思います。

(市の考え方)

中学校給食を選択制としました理由につきましては、食物アレルギー等の対応を必要とする生徒へのきめ細やかな配慮が必要なことや、本「あり方」の作成にあたり実施したア

ンケートによると、家庭弁当が食べたい児童生徒もいることから、選択制が適切であると判断しました。

また、デリバリー方式での喫食率は、予算の算定や導入規模の想定時に必要となることから、喫食率の正確な把握に努めます。先行する他自治体において高い喫食率を維持している事例もあるため、先進市を参考に検討を進めてまいります。

今後については、多くの生徒等に選択される給食とするために、導入前から、児童生徒及び保護者並びに教職員に対し、ニーズ調査や食育・安全性・衛生面の観点について十分な説明を行うとともに、給食の試食会を実施するなど積極的な周知活動等を行い、理解を求める取組が必要と考えております。また、就学援助の対象となる世帯が、確実にかつ安心して給食を選択できるように、支援制度の周知を図ります。

なお、喫食率の向上を図る取組全般に係る事項につきましても、検討を行う中での参考とさせていただきます。

■自校方式について（２２件）

（意見８６）

子どもたち最優先の茅ヶ崎市に！中学校給食は自校方式で！

１．温かい給食は自校方式だから実現できる

①中学生が喜ぶおいしい、温かい給食

②調理員の方々が自分たちのために給食を作ってくれる姿に触れ、湯気やにおいを感じて楽しみにし、友達と話しながら同じものをいっしょに食べる。

２．中学生の成長に必要な給食は自校方式だから実現できる

①小学生とは違う栄養素やカロリーが必要

（＊学校給食法 ― 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。）

３．茅産茅消、安全な食材を確保は自校方式だから実現できる

①自校方式で茅ヶ崎の八百屋さんが食材を調達―茅ヶ崎方式を推進

②茅ヶ崎の野菜の自給率を上げ、農家さんのがんばる力になる。どこの農家さんが作っているのか子どもたちが茅ヶ崎の農業を自分の目で確かめることができる。

４．学校給食法の目的は自校方式だから実現できる

①義務教育での給食の実施に努めなければならない

（＊義務教育諸学校の設置者は、当該義務教育諸学校において学校給食が実施されるように努めなければならない（学校給食法第４条））

②児童・生徒の心身の健全な発達に資する

③生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと

④優れた伝統的な食文化について理解を深めるなど

５．学校給食法に基づき全国の自治体が中学校給食を実施

関東は90%以上。神奈川県は44.6%。

神奈川県の未実施は茅ヶ崎と横浜だけ

茅ヶ崎は数十年に渡って子どもたちへの給食という教育を怠ってきた。

子の金額はいくらになる？

６．食育基本法の目的は自校方式だから実現できる

食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来にわたる健康で文化的な国民の生活と豊かで活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。

7. 小学校と同じ自校方式で

以上を実現するためには自校方式が一番

8. 道の駅より中学校給食を！

最優先は子どもたち。自校方式の完全中学校給食。

新庁舎建設やスポーツ公園を優先にしてきた。道の駅建設より子どもたちが最優先

9. 「選択制デリバリー方式」もお金がかかる

業者との癒着がないか？弁当容器はごみにならないか？疑われる。

（意見 87）

中学校給食に温かい食事が提供されれば、母親の負担がすごく減ります。忙しい中学生が落ちついてお昼をみんなで食べられる環境は、学生時代でとても重要だと思います。小学校と同じような自校方式をお願いします。

（意見 88）

過去に小学校でふれあい補助員として活動していた経験があるので、小学校給食の素晴らしさを知っています。中学校給食も小学校と同じような方法で実施していただきたいと思います。

（意見 89）

中学校給食については、最善の方法を選択するという意味でも、自校方式を実施してほしいと思います。

（意見 90）

私達大人も温かい食事にほっとして幸せを感じます。冷たいお弁当は食欲も日に日にわかなくなり、成長期に必要なことが衰えていきます。中学生も大事な成長期です。校内に調理場を作り、中学校でも必要な給食を「温かい・安全」な給食を食べて美味しかったと思う給食を実施してほしい。要望します。

（意見 91）

茅ヶ崎市立中学校給食の実施方式のあり方（素案）では、「選択制デリバリー方式」とするとのことですが、これでは給食といえないと思います。

私は小学校と同じように、是非「自校方式」にして欲しいです。

理由は、皆で同じ物を温かく食べることができる・アレルギー児童への対応ができる・給食を活用した食育ができるからです。未来を担う子どもたちに、もっとお金をかけてください。

(意見 9 2)

たくさんの署名をつけ、「中学校でも自校方式の給食を」と運動してきた新婦人としては、今回の案に驚いています。

「完全民間委託のデリバリー方式による給食」か「家庭からお弁当を持参する」かを選択する「デリバリー方式」とする。

数年前、2年間にわたり、お弁当を試行して、失敗したのを忘れたのでしょうか？同じ物を同じ時間に一緒に食べることが給食では重要です。

お弁当とデリバリーの食事では、クラスに差別ができます。給食はあって当たり前にしてほしいです。未来をになう子ども達は宝です。もっとお金をかけてほしい。今だけではなく将来「こうしたい」という方針もなく、本当になさしいです。きちんとかいて下さい。

道の駅より中学校給食ということで考えて下さい。

市長は選挙公約に親子方式とかきました。そのことの議論はなかったのでしょうか。

「早くやればいい」、「お金はかけないのがいい」、それがみえみえです。しっかり子ども達と向き合い、あたたかい給食、アレルギー対策、作り手との交流、食を豊かにしていくことが大切です。

是非、考えなおして欲しいです。

(意見 9 3)

選択制デリバリーを採用するしか本当はないのでしょうか。小学校でもアレルギー対応もできている。個人に適した量も小学校でも工夫している。デリバリーを採用している自治体は増えているが、「まずい」「不安」の声が後をたたない。デリバリーをというなら、それをどう考えているのか。「温かいできたてを」との声に、きちんと将来まで見すえて考えてほしい。今できなくても未来のためにきちんと考えてしっかりと計画し、将来につなげる。茅ヶ崎がその新ケースになる位の努力をしていくことはできないのか。小学校の自校式までの道のりもセンターをつくり、一校一校やってきたのではないのか。小学校も全校一斉に自校式ではなかったと聞いている。(最近までセンターから運んでいた学校もあった。がやっとセンターが役目をおえた) ならば、長期的目標をキチンと立てて、センター式や親子式や兄弟式から自校式に移行する計画を練ってほしい。デリバリーを採用して、「まずい」から家で作ってほしいと言われてでは9割の保護者達の期待には応えたことにはならない。中期的、長期的と考える事はしないのか。市民は子育てにすぐ答えを出せなくても、きちんと説明し、きちんと改善していく姿を待っています。厳しい子育て環境、子どもの貧困などへの鍵は、今の対応を「その場しのぎ」なものにしない事が大切。10ヵ年で計画や20ヵ年でなど、今を未来につなげてほしいです。

(中学の娘の母より)

「その場しのぎ」なら反対。デリバリーの先にある目標が自校につながるなら。きちんと説明と計画開示を。

(意見 9 4)

「茅ヶ崎市立中学校給食の実施のあり方」について読ませていただきました。中学校の給食は市民運動もあり、いつ出来るのか関心をもっておりました。私は自校方式が良いと思っております。地元の農家の作った野菜を使う、調理する人の顔も見える、できたての給食が温かいまま子どもたちがいただく嬉しそうな子どもたちの顔が目に見えます。自校方式だからこそです。しかし完全民間委託のデリバリー方式については、近郊に保有する工場を改修することにより短期間で学校給食を提供可能とする民間事業者、また新たに用地を確保し工場を新設することにより、本事業への参入を検討中の民間事業者が存在しています。すでに素案が市民に示される中に決定もされない業者が入りこむことに驚きました。何でも財政がきびしいので民間委託にすればいいというものではありません。未来をになう子どもたちに良い教育環境を作ってあげる、給食もその中のひとつです。検討を重ねてきた「素案」だと思いますが、私たちの声が市政に届くよう心から願っております。

35年前に自校方式の中学校給食を実施して現在も続いている東京都下の市に住んでおり当時のことを思い出して最後につけ加えてしまいました。失礼いたしました。

(意見 9 5)

中学校給食実施にあたっての調査が、実施困難という結果ありきに思える。特に理想的な実施方式である自校式が、容易に実施できる条件が整っている環境などあるはずもなく、その上で生徒の成長に重要である給食をどのように最善の方法で実施していくのかを検討すべきである。温かい食事を全員で食べ、行政として中学生という大事な心と体の成長期に責任をもっと持つべきである。

選択制デリバリーでは、利用者が2%前後という他自治体の例があり、ほとんどの家庭が利用しないという結果が出ているのであり、中学校給食を本気で実施する気はあるのか？ただの功績づくりである。さらに選択制では利用者の方に税金が補助されるのであり大変な不公平を招く。また、選択できない子、できる子で家庭の経済状況が子どもたちに目に見えてしまう。「家庭の負担の軽減」に結果としてならず、給食の目的の一つに逆行するものである。また、業者選定には必ず利権がからみ、透明性のある税金の使われ方にはならない。それなら自校式含めた、よりよい方法へ予算を割くべきである。中学校給食の実施には、設備や学業の時間等、大幅な変更が伴うことは否定できないことではあるが、給食の必要性を考えれば、その実施を中心に据えた思い切った改変を覚悟するべきである。

(意見 9 6)

- ・中学校給食は温かく、中学生の成長に合わせることができる自校方式をお願いします。
- ・評判が悪く、喫食率も低く、見直しが要請されている他自治体のデリバリー方式はやめてください。後で後悔します。
- ・地元の食材を使い、作る人も見え、みんなで同じ物を食べることは、最高の食育で

す。

(意見 97)

学校給食法が1950年に施行され、2005年に食育基本法が制定され、2008年には学校給食法が改正された時点で、特に成長期にある中学生のとり昼食は大変重要であると位置づけられた時点で、茅ヶ崎市でも中学校給食が必要であると位置づけるべきではなかったのではないのでしょうか。統計からみても県内で完全給食が44.5%実施されている状況は行政として把握されているのではないのでしょうか。

実施する方向になったのはあまりにも「おそい」と強く感じています。前市長の時から要望して来ましたが職員は市長がやらないと言っているので要望があるか等、アンケートも検討しないと市の職員(担当課)が回答していたので残念に思っていました。

市長が変わって実施するとの公約ですから、完全給食、全員給食を食べられる給食を実施して下さい。

検討会議の方向をみますと、デリバリー方式で申し込み制とあります。①全員が給食を食べられるよう申し込み制はやめて下さい。(それでこそ完全給食ではないでしょうか)②栄養を考えた給食が必要ですのでデリバリー方式でも市で栄養士を採用して提案して下さい。③デリバリー方式で申し込み制では差別につながります。経済的に苦しい家庭では申し込みません。安いおにぎりのみや何も食べられないでいる現状をしっかりと把握して下さい。デリバリーにした理由が3項目ありますが、小学校でも部活はあります。アレルギーの子どもも居ますが、全校で自校方式で実施されています。

お金がない等の理由を聞くこともありますが、小学校の時のように何年かかっても自校方式の給食を実施することを強く望みます。

(意見 98)

中学校給食を「自校方式」にと望む者です。現在の素案「選択制デリバリー方式」の良さは考えられません。第一に、小学校時代の「自校方式」がそのまま続く事が、保護者も生徒も昼食の心配がなく、育ち盛りの中学生時代を安心して過ごせる事と思います。ひと時の事ではなく、3年間毎日の事ですから。

栄養バランスを考えた給食を全員に提供されるべきだと思います。

アレルギーの心配も小学校からの情報で、より注意できると思います。

つけ加えますと、食中毒なども(もしあったとしたら)感染源が分り易く、その意味からも衛生管理がより強化される事と思います。

(意見 99)

中学時代お弁当を作り続けてきた4人の子どもたちもうすぐ成人となりますが、これからの子どもたちのために中学校給食実現に向けての検討がされていることをうれしく思っています。中学校給食については小学校と同じ自校方式の完全給食を望んでいるので、選択制デリバリー方式の素案について意見を述べさせていただきたいと思います。

・子ども食堂の広がりにもあるように子どもの貧困の問題が深刻化している今、お弁

当持参が困難な生徒もあり、現場の先生からお弁当の時間教室を離れて時間をつぶす生徒や隠しながらお弁当を食べる生徒がいて聞いたことがあります。他の地域の話では要保護世帯の生徒には補助があるものの、毎日たのんでいると、そこから差別やいじめにつながる事例もあるとのこと。みんなと同じあたたかい給食を一緒に食べることで、楽しい雰囲気が広がり、栄養面だけでなく、心も豊かになるのではないのでしょうか。

- ・地産地消、食育の観点からも、地域の畑でとれたものを調理員さんが作ってくれる様子を身近に見ることで、匂いや湯気と共に過程が伝わり、まわりの人たちへの感謝の気持ちもわいてくるのだと思います。
- ・デリバリー弁当で、食物アレルギーの対応ができているのか心配です。

以上の理由で、子どもたちの健全な発達成長を考えた自校式の完全給食を望みます。

財政面、施設の整備等で全校一斉が困難ということであれば、長期的な計画のもと段階的に進んでいけるようご検討ください。よろしくお願い致します。

（意見１００）

学校教育の中で、食育が今程大切な時はありません。今の社会は共働きの家庭が多く、親も大変な時代。生徒がみんなできたての給食を食べることの意味は非常に大きいと思っています。デリバリーではなく、自校方式を希望します。

市民の財政とは市民のために使用、、、なにが大切か、、、子どもは市の宝。

（意見１０１）

学校給食法においても、「育」の行政による責任は大きい。自校方式以外にしっかりとそのことを実現できる方法はありません。

（意見１０２）

元市内中学校教員です。中学校給食実現に向けて取組をスタートさせた市の姿勢に敬意を表します。

子どもの貧困が社会問題化する中で、中学校給食実現は緊喫の課題です。実施方法は、小学校と同じ自校方式が良いです。中学生の健康を守るためにも生徒のアレルギーの対応としても自校方式がベストです。

（意見１０３）

中学生に給食を食べさせることは大事なことです。ではどんな給食にするか。市として金が無いから民間にゆだねると言うことだがこれは他自治体でも失敗している子どもの食育をどうしたらいいのか、から出発してもらいたい。

茅ヶ崎や神奈川県はどんな野菜がとれ、どんな魚がとれるのか給食を食べながら学んでいく必要があると思う。

あてがわれた弁当より給食を作った人の心や愛情を考えながら食べる給食で全然内容が違うと思う。

茅ヶ崎の生産農家がどんどん減って行くなかで、茅ヶ崎の野菜を使った給食になれば、生産農家も喜ぶし、子どもたちも喜ぶのではないか。

同じものを皆で食べることも義務教育の一つでは。

今子どもたちも貧富の格差がどんどん広がっていると聞きます。その格差を少しでも縮めることも大事なことと思う。

何年か前にある小学校が茅ヶ崎の農家さんに行って野菜作りを勉強したことがありました。農家さんの話を聞いて、人参を食べられなかった子どもが人参を食べるようになったと作文を書いて農家さんに送ったことがあります。

市にお金が無いと言うならやめるべきは（例）道の駅。それより子どもに向けてどう対処するか、そのような姿勢を市民は望んでいる。

中学校給食は自校方式で。

（意見１０４）

自校方式は、地元生産物の利用の工夫が可能で、地域活性化にもつながり、子どもたちの地域への関心を高め、教育的な効果も図れます。

自校方式をめざし、当面親子方式も取り入れることで早急な実現を図ること。

災害時、大人が日々の暮らしを立て直すことで精いっぱいときでも、子どもたちを安全な状態に置くためにも給食の設備は重要な役割が果たせます。

災害復旧のとき、公的な給食設備があることは、地域の復興にも役立てられます。

（意見１０５）

アンケートの数字ですが、小学６年生は給食を食べ続けていて、行事の時に家でのお弁当となるため、そのイメージもあって、給食となってほしいと思わないが多くなったのではないのでしょうか。また中学２年生では期待しているという意見が多いため、はっきりと給食でよいと考えてよいと思います。

今回デリバリー方式の検討とのことですが、他自治体の問題があった中で、敷地や費用ありきでデリバリー方式にもっていくことはいかがなものでしょうか。自校方式が一番よいと考えます。

（意見１０６）

色々な方法を比較してみた結果、自校方式が一番良いのではないかと考えられます。「中学校給食」はここ１～２年で終わる事柄ではなく、何１０年も続いていくことです。成長期の子供に安全で温かい昼食を提供する為に、永い目で見て、最善の方法をとって下さい。他市の失敗例から学ぶことも大切かと思えます。

（意見１０７）

市が中学校給食に政策を重視された事に感謝します。

方法はたくさんあると思いますが、小学校給食（完全自校方式）が出来ているのですから、未来を担う子どもたちのために差のない完全自校方式にぜひ取り組んでほしいで

す。

時間、金額にとらわれず、茅ヶ崎市にふさわしいほこれる自校式にこだわって下さい。

(市の考え方)

「5 各方式の導入におけるスケジュール」に示したとおり、デリバリー方式は、適切な民間事業者の存在やコストなどの見通しが立った場合、整備着手から4年後に全校での給食開始が可能となります。

一方、自校方式であると、デリバリー方式で全校の運用が開始となる時点で数校分の整備が完了している状態で、中学校全校に中学校給食が提供できる環境が整わない状況となります。

また、アンケート結果を踏まえながら、多面的に調査・研究した5つの実施方式の中、家庭弁当を望む声へ対応できること、比較的財政負担が少ない方式であることなどから本市に適した実施方式とするデリバリー方式は、一斉に開始可能であり、学校給食を望む多くの保護者等の期待に応えるものであると考えております。

なお、いただきましたご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、行政としての様々な課題に当てはめていきながら検討を進めてまいります。

■兄弟方式について（1件）

(意見108)

一斉開始にこだわらなくても、まずは実現可能な学校から兄弟校を組み、実施する方法もあると思います。

(市の考え方)

「5 各方式の導入におけるスケジュール」に示したとおり、デリバリー方式は、適切な民間事業者の存在やコストなどの見通しが立った場合、整備着手から4年後に全校での給食開始が可能となります。

一方、兄弟方式であると、デリバリー方式で全校の運用が開始となる時点で数校分の整備が完了している状態で、中学校全校に中学校給食が提供できる環境が整わない状況となります。

また、アンケート結果を踏まえながら、多面的に調査・研究した5つの実施方式の中、家庭弁当を望む声へ対応できること、比較的財政負担が少ない方式であることなどから本市に適した実施方式とするデリバリー方式は、一斉に開始可能であり、学校給食を望む多くの保護者等の期待に応えるものであると考えております。

なお、ご意見につきましては、デリバリー方式による中学校給食の実現後、まずは提供後の感想等を生徒、保護者、教職員に聞き、様々な見地から分析をした上で、必要に応じて自校・兄弟・親子・センター方式への変更について、長期的に研究してまいります。

■親子方式について（9件）

(意見109)

服部市長からは「他に優先させるべきことを優先させてから」という消極的意見ばかり

りが目立ったが、佐藤市長は「中学校給食を親子方式で実施」と公約に掲げて当選した経緯があるためか、または優先させるべきことが完了したためか、具体的に進んではいる。

しかし施政方針演説ではいつの間にか《親子方式》という文言が消えている。

今月 28 日に行われる施政方針にはまだ検討の余地がある事が確認出来るような言葉を期待している。

今現在の学校スペックのままではいずれも難しいのは承知の上だ。金も土地も時間もかけずには不可能である。

ハードルが低いのが、選択制デリバリー方式なのだろう。しかし利潤追求する民間事業者に委託して果たして安心安全な食を成長期の生徒に対し提供できるのか甚だ疑問だ

(意見 1 1 0)

選択制デリバリー方式反対。

小学校と同じ方式にしてください。子供達にやさしい茅ヶ崎にして！！

すべての小学校も何十年かけて給食になったのだから、中学校もできるところから、親子方式（東海岸小学校・一中）等を考えるべきではないのか？親子方式は佐藤光市長も 2019 年 4 月の市長選で公約として、かかっているのに、なぜ？

(意見 1 1 1)

佐藤市長は市長選の時に親子方式を進めていく考えで当選されました。それを簡単に崩さないでほしいと思います。

これは大きな問題です。市政が何を大事に取り組んでいるのか、とても分かりやすい形で市民に伝わると思います。

どうか親子方式、またはセンター方式で中学校給食を提供してください。

子どもたちはデリバリー方式で届けられるお弁当に、愛を感じられないと思います。極端に言ってしまうと、コンビニやスーパーのお弁当を買って渡されているのと同じ感覚かと思います。

調理員さんたちが心を込めて自分たちのために作ってくれたご飯こそ、子どもたちの心とからだの栄養につながっていく学校給食の在り方かと思います。

子どもたちの食を、どうか守ってください。よろしくお願いします。

(意見 1 1 2)

自校式の給食が一番望ましいと思うが、親子方式等でも良いが、デリバリー方式は他の自治体の悪い例もあるし、やめてもらいたい。

市長は公約を守ってもらいたい。

(意見 1 1 3)

茅ヶ崎市中学校給食について

先日、茅ヶ崎市の職員の方に、中学校給食の方針について話を聞きました。

正直言って、現実的に大丈夫かという印象です。

デリバリー方式を採用するとのことでしたが、民間に丸投げの案は、現実的に不可能と思われます。

理由1、現在茅ヶ崎市内に、1日6000食のお弁当を生産できるお弁当工場は存在しないこと、茅ヶ崎市の説明では、給食センター方式を否定しているので、少なくとも3～4の生産拠点を持たなければならないと思われます。現在そのような規模の土地を含めた弁当生産工場を設置できる業者は、ハーベスト以外に考えられませんが、これから業者選定との話でしたので、とても短期間に実施できると思えません。

理由2、完全給食でなく選択方式であるとのことでしたが、どのくらいの食数があるのかわからないのは、民間にとってはとてもリスクが高い事業であります。また学校関係の仕事は、基本的に営業日数が足りません。授業のある日数は180日前後、給食のある日数は120日前後と思われます。そのような少ない稼働率で、6000食の弁当生産工場を民間で維持することは、不可能です。

理由3、今後生徒数が減少していくことが、はっきりしているのに、高額の投資を回収できる見込みがないところに、民間は参入できません。民間である以上事業として成立しなければ、倒産してしまい給食事業そのものが、非常に不安定な事業となります。

理由4、前に述べたように、現在この規模を委託できる業者は、神奈川県にはほとんどありません。したがってほかの事業者がない以上、入札制度は意味を持たず、現実的には業者側の言いなりにならざるをえません。他自治体のように大量の予算を使い、ほとんど利用されない弁当給食になる可能性が高いです。

以上の理由から、現実可能なプランは市長の公約通り小学校で給食を作り中学校に配達しつつ、自校で製造できるところは製造する。近くに小学校がない場合は、中学校13校に対し、小学校19校と、多いので1校の中学校を2校で製造する。といったような1方式にとらわれず、柔軟な方式でスタートし、将来1方式に統一する方が現実的だと思われます。

配送業者がいれば、デリバリー方式を試してみるのもいいですが、すでに茅ヶ崎市では、デリバリー方式を過去2回試していずれも失敗しているので、正直茅ヶ崎市で業者と上手くやるのは、難しいと思います。

また、2～3年後には、近隣の市はほとんど、中学校給食が開始されます。児童医療無償化もそうですが、また茅ヶ崎市は最後とならないことを切に願います。

私は、当マンションの理事も務めておりますので、当マンションの居住者も非常に关心をもっていることも確認しています。

現在の市長は、公約として中学校給食を掲げていたので、任期中に必ず実現していただきたい。よろしくお願いいたします。

(意見114)

市長は公約で親子方式と言っていたのにデリバリー方式という結論を聞いて驚いています。実施方式について再検討してほしいと思います。

(意見 1 1 5)

中学校給食の理想は自校方式だと思いますが、緊急に実現して頂くために、小学校の調理室を利用しての親子方式を是非進めて頂きたい。

50年近くかけて全校で自校方式を実現したのですから、それを利用しないということはもったいないです。

選択制デリバリーには反対です。

(意見 1 1 6)

私は小学生二人の母です。働いていますから、やはり中学校給食には大賛成です。うちの子たちは、温かいものを食べられるなら給食がいいといっています。ただ、デリバリーとなると冷めてしまわないでしょうか。それと質、それが気になります。食生活が大事な時期、親が働いていて、忙しすぎて、バランスのよいお弁当をなかなか考えてあげられないというご家庭も多いかと思います。私が中学生のころ、親が弁当をつくってくれないので昼なし、というクラスメイトがいました。まさか今は先生が目が行き届いているのでそういう子はいないかと思いますが、もし一人でもいるのであれば、全員給食にしてあげてほしいと思います。選択制より全員給食のほうがいいのではないのでしょうか。私は梅田小学校でつくって梅中に運べばいいじゃないかと思っていましたが、無理なんですね。残念です。小学校給食のメニューがよくてとても気に入っているので、中学でも引き続き食べられると嬉しいと思います。

(意見 1 1 7)

共働きの家庭が増え、弁当持参は負担がかかりすぎると思われます。育ち盛りの子ども達の栄養バランス等も考えると、学校給食は必要です。但し、民間委託となると、企業の利潤追求の体質から、冷凍食品や粗末品が使われる可能性が否定できない事を考えると、せめて親子方式（少しは経済的かと）の給食を望みます。

(市の考え方)

「5 各方式の導入におけるスケジュール」に示したとおり、デリバリー方式は、適切な民間事業者の存在やコストなどの見通しが立った場合、整備着手から4年後に全校での給食開始が可能となります。

一方、親子方式であると、デリバリー方式で全校の運用が開始となる時点で数校分の整備が完了している状態で、中学校全校に中学校給食が提供できる環境が整わない状況となります。

また、アンケート結果を踏まえながら、多面的に調査・研究した5つの実施方式の中、家庭弁当を望む声へ対応できること、比較的財政負担が少ない方式であることなどから本市に適した実施方式とするデリバリー方式は、一斉に開始可能であり、学校給食を望む多くの保護者等の期待に応えるものであると考えております。

なお、いただきましたご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、行政としての様々な課題に当てはめていきながら検討を進めてまいります。

■センター方式について（１１件）

（意見１１８）

早急に中学校給食の整備をしてほしい。小学校給食は、食育に大変力を入れてくださっており、子ども達も喜んで食べている。中学生は成長期であり、食育を行うべき大切な時期だと思う。家庭のお弁当となると、品数の確保や季節の食材を入れる等の対応も難しく、小学校と比べて一気に昼食の質が低下することになる。

資料を拝見すると、デリバリー方式が適当という考えのようだが、冷たい出来合いのお弁当を子どもに食べさせるという結果になるのであれば、給食を整備したとは言えない。自校式が難しいのは理解できるが、センター方式を実現するべく、必要な改修工事や土地の確保を行うこと、給食受け入れに学校に人員が必要なのであれば職員の増員などを再検討いただけないものか。

土地の確保については、例えば屋外プールならばつぶしてしまってもいいのではないか。異常気象で入れる日も多くないだろうし、夏季の限られた時期にしか使用しないのであれば、もったいない。どうせなら、年頃でもあるので更衣室やセキュリティや水質管理がしっかりしている市営プールなどを利用できないものだろうか。そもそも命を守るために泳げるようになることが授業の目的なのであれば、必要な生徒だけが習える仕組みを作ればいいと思う。

未来を担う大切な子供たちのために、豊かで質の高い給食の整備を願っています。

（意見１１９）

全国で給食を実施していない県がない中、茅ヶ崎はもっと力を入れてほしいです。まず、デリバリー方式ですが、結果おいしくない＝お弁当という選択になっているように感じられます。以前、中学校で実施した際、おいしくなかった、期待していたのに残念という結果になり、みんなお弁当を持参したと耳にしています。全中学校を統一せず、これから出来る事からはじめて、兄弟方式や親子方式がとれる学校は採用すれば良いかと思います。もしくは、統一するならばセンター方式の給食センターを建設し、同じ給食を配付すればいいかとも思います。イオン等の拡大な土地をマンションにするのではなく、茅ヶ崎にはまだ給食センターのつくれる土地があるかと思われます。ゴルフ場跡地でもいいでしょう。例えば茅ヶ崎警察跡などセンターで給食をつくって、お弁当として販売すれば、利益も出て、一般の人も学校の給食の味が分かっていいのではないのでしょうか。

アレルギー問題と言われますが、小学校ではできるのに中学校では難しいので、お弁当ではそもそもの問題をすりかえられている気がします。そしてお弁当では、まず子供の栄養面を考えると給食が望ましいと思われます。夕食は何を食べていますか？ほぼ同じ物をお弁当に入れています。全員が栄養をきちんとしているとは思えません。給食なら栄養がきちんととれ、親も安心です。

お弁当は例えば月１にお弁当デーをつくれば、子供の意見の親の弁当が食べられなく

なることはなくなります。あたたかい食べ物を口にするという事は大切です。夏の食中毒も心配です。（お弁当持参の場合）

新たな給食実施スタート、目先の事だけでなく、長い目でみて、センター方式がいいのかと思われます。ぜひとも期待しております。

（意見 120）

子どもの食育のためには、自校式が最も良いと思いますが、これから子供が減る時代です。今後のことを考えれば、柔軟に対応でき、栄養士もいて、生徒各自の量に適した給食が提供できるセンター方式が良いと思います。

場所は、豊かな長寿社会のために考えていた雇用促進住宅の跡地が良かったのではないのでしょうか。

今となっては、遅いかもしれませんが、なぜ、市民が望まないモデル地区などの浅はかな検討をしてきたのか、理解に苦しみます。

（意見 121）

デリバリー方式には、他自治体の「美味しくない」「異物混入」等が記憶に新しく良い印象がありません。給食センター方式に関する検討を再度お願いしたいです。

素案の P54 では導入可能なものとして挙げられていますが、資料の中には市内の建設可能な用地に関する具体的な情報が全く記載なかったのが、実現に向けてきちんと検討してくださったのか、もやもやしたものを抱えてしまいました。

デリバリーの場合は、安全な食事で、かつ温かいものが提供できなければ利用率は低いと思います。食材の産地や栄養バランスに市の栄養士が介入できないものでしょうか。

（意見 122）

小学校のように自校式である必要はないと思う。（わが子たちは円蔵小学校に通っていたが、数年前までセンターから運ばれてきていた給食で十分満足していた。むしろ自校式に変わったときに味が一定していない、ご飯がおいしくないなど文句を言っていたほど）センターでまとめて作り配送する方式で構わないので給食専用の施設で作ったものを提供してほしい。

（意見 123）

中学 1 年生の子供がいる母親です。昨年 4 月からお弁当を作っています。小学校の時の給食メニューを参考にしていますが、汁が出るものや子供が嫌いなものは除く為、ワンパターンになってしまいます。部活動で朝練習がある日は早く出かけるので、お弁当も朝早く作らなくてははいけません。給食費は月額 5000 円で検討されているとの事ですが、お弁当も同じ位かかりますので、問題ありません。給食のメニューは小学校と同じにして、量だけ増やせば、新たに考える手間は省けます。給食室の建設はすぐには難しいと思いますので、既存の給食センターを再整備して利用すればいいと思います。中学校の給食が始まれば、新たに学校給食調理委員の雇用が増えますので、一石二鳥だと思います。

います。是非、中学校給食を実施して下さい。

(意見 1 2 4)

結論から申しますと、早く給食を開始してほしいです。フルタイムで仕事をしていますが、前日からお弁当の仕込みをしたり、朝早く起きてお弁当を作らなければならないことに限界を感じています。食育を重視しているので栄養バランスを考えて作ろうとするとなかなか手抜きができません。子供も温かいご飯が食べたいといっています。給食センターを建設して頂き、市内の中学校に温かい給食を配って欲しいです。税金がまわせないなら有志で募金を募ってでもいいので、早く給食を開始して欲しいです。市長の公約でもあるので必ず実施してもらいたいです。

(意見 1 2 5)

広くパブリックコメントを求めるなら、この紙は小学校へ配るべきである。ご案内の紙を配り、自ら資料を取りに行くのは不便。ネットで見ることでもできず、意見も市ホームページから提出したかったが、バーコードリーダーからすぐコメント欄にならず、入力できません。

茅ヶ崎市、やる気ないですね。まわりの市町村は先に中学校給食を実施したり検討していますね。遅いです。完全給食が良いです。

市役所跡や、やなぎしま競技場にしないで給食センターを作ってほしかった。

中学生、お弁当にすると栄養がかたよります。こども食堂が話題になるなど給食をあてにしている家庭もあります。

共働きも増えて、通勤時間が長い家庭は、お弁当作りは苦業です。お弁当を作ることが愛情だと思う 20 才代～50 才代の母は、ほとんどいないと思います。アレルギーは各家庭でお弁当にすれば良いだけです。結局、茅ヶ崎市の財政で給食室、給食センターが作れず、外部のお弁当。他自治体のように赤字が増えますよ。学童で外部のお弁当はとても不評。量が多く、あげもの多く、小学生はまずいので食べません。

中学生は食べますか？給食時間 20 分しかなくて、他市町村はどのようにして完全給食の時間を確保しているか調べて下さい。社会人も 20 分で昼食はないですよ。中学校の時間を確保し、成長期の子供たちを守るため、形だけの中途半端なお弁当はやめて、早急な完全給食を希望します。

4 年後では遅すぎます。

(意見 1 2 6)

素案に対する私の意見は、「学識者や市民を入れた新しい検討会議をつくり、検討を深めてください」というものです。学校給食の実施のために素案は適切な資料となります。

ここまで遅れてのだからしっかりした議論のうえの実施を望みます。

この意見は、受け入れられないでしょう。そこで、センター方式にして、常時、生徒の意見を栄養士や学校関係者が把握して、成長期の生徒に相応しい中学校給食を期待しま

す。

学校給食制度は、3年ごとか、あるいは5年ごとに検証期間を設けるようにしてください。

かつて、他自治体ではデリバリーだった学校給食が取りやめになったことを思い出し、財政だけを考えるデリバリー方式には賛成できません。

(意見127)

現在、使用されていない保健所近くの給食センターを活用し、センター方式でバランスよく温かい給食が食べられる様、検討して欲しい。

親子方式が可能な学校は、親子方式も取り入れ、他自治体のデリバリー方式で起こった問題の(異物混入や味の調整)二の舞にならぬ様、デリバリー方式は避けて欲しい。

最悪、デリバリー方式になる場合は、期間選択を可能にして欲しい。(1週間ごとに発注する等)

家の弁当とデリバリーを選択できる事に関しては、各家庭の事情により異なるためいと思う。

形式上、公約を実現させる為だけの仕事にせず、その先に市民や未来を担う子ども達の成長に関わる大切な事項だと思い、子ども達の為に(大人の都合ではなく)一番ベストな方法を取り入れて欲しい。

(意見128)

食物アレルギー等の例外はあっても基本は全員喫食の給食を実施してほしいです。また、同じ配送であってもセンター方式で実施してほしいと思います。導入に係る費用も事業着手から実現までの期間もデリバリー方式とセンター方式では大きな違いはないように思います。柳島や中島方面に土地はたくさんあると思います。市役所の隣も空き地があります。選択制だと少しでも評判が悪くなると喫食率が下がると思います。

(市の考え方)

実施の費用につきましては、本「あり方」47ページの「6. 7. 概算総事業費のまとめ」に示したとおり、全員喫食した場合でもデリバリー方式が他の実施方式と比べ、安価となり、また、実施までの時期についても同32ページ「5. 各方式の導入におけるスケジュール」に示したとおり、デリバリー方式ではほかの実施方式と比較すると短期間で導入することが可能となります。

また、センター方式は同5ページの「1. 6. 学校給食に必要な施設の設置制限について」で示したように、建築基準法第48条で定める用途地域の建築制限により、原則、工業系の用途地域にしか建築ができないことに加え、デリバリー方式と比較して、初期整備が多大に係ることから、給食提供までに時間を要することが想定されます。

以上を踏まえ、13市立中学校への給食提供を早期に一斉に開始することなど、検討会議における検討の結果、デリバリー方式を本市の適した実施方式のあり方としました。

次に、喫食率につきましては、同51ページの「7. 学識者の意見等」の学識者からのご意見を踏まえ、また、先行する他自治体において高い喫食率を維持している事例もある

ため先進市を参考に、検討を進めてまいります。

なお、いただきましたご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、行政としての様々な課題に当てはめていきながら検討を進めてまいります。

■給食提供方式による課題について（6件）

（意見 129）

お弁当の時間が 20 分程のため配膳や片付けの時間をとるのが難しいとのお話もありましたが、食事はただ空腹を満たすだけのものではないはずです。部活や塾などで忙しく、生活のための力が弱まっている中学生が配膳などの活動を担うことは必要だと思います。

（意見 130）

今の休み時間に合わせるのではなく、今後は休み時間を見直していくべきです。食べる準備や片付けも大切な時間であるという視点をもっていただきたいです。

（意見 131）

給食時間や配膳の問題、部活動の時間との兼ね合いなどが挙げられていますが、今の子どもたちはゆっくりと満足に食事すら取れないのかと思うと、教育とは何であるか、考えずにはいられません。

（意見 132）

日課への影響を最小限に抑えることが必要という説明がありましたが、給食も食育という教育の一環であるため、道徳や家庭科や社会の授業時間を少しずつ削って給食の時間にあてることができると思います。

（意見 133）

各方式の検討の中に、日課への影響が大きいという理由が書かれていましたが、全国的に多くの自治体が実施できている中で、日課への影響というのは理由にならないと思います。授業の時間を 50 分から 45 分に変更すれば 20 分確保できます。そのような工夫をすれば実現可能であると感じました。

（市の考え方）

中学校の授業につきましては、学校教育法施行規則第 73 条で一単位時間を 50 分とすることが定められていることから、給食における配膳及び片付け時間の確保のため、現在の、日課の変更が必要となります。

日課の変更により、生徒の部活動及び委員会活動等といった放課後の自主自立的な教育活動時間の短縮や、最終下校時刻が遅くなることに対する安全性確保への懸念があります。加えて、項目「中学校給食実施に伴う、教職員の働き方への影響について」に示したとおり、教師が児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるように、教職員の業務を増大

させないように考慮することが必要と考えております。

これらのことから、給食による日課への影響を少なくするため、本市の中学校給食では弁当箱方式による実施が妥当と整理をしております。

また、給食の時間につきましては、授業時数等には含まれないものの、中学校学習指導要領では、特別活動の学級活動に「生徒が望ましい食習慣を身につけていけるよう食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」と示されており、ご意見のとおり、中学生の配膳活動などは重要な学校教育活動と考えております。

なお、いただきましたご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、行政としての様々な課題に当てはめていきながら検討を進めてまいります。

(意見 1 3 4)

提供方式による課題を、学識経験者の意見等（パブコメ説明会の市民の意見等々（生徒の声含む））十分反映したり克服したうえですすめて欲しい。

(市の考え方)

給食提供方式による課題につきましては、弁当箱方式で、主食と汁物は保温材を入れた保温性の高い配送箱で運搬し温かく提供する工夫や、おかずを調理後に 10℃以下の温度とすることが、衛生上必要なことを、生徒及び保護者、教職員に丁寧に説明し、理解を求めていく必要があると考えております。

また、提供方式による課題に対する取組全般につきましては、おかずの保温カートでの配送や大型電子レンジでの再加熱などの他自治体の事例を参考に、安全で、生徒が食べたいと思える学校給食のあり方を研究してまいります。

■食育、食の安全性の考え方について（1 2 件）

(意見 1 3 5)

50 ページに文教大学の渡辺先生の意見が記載されています。

でも、この意見を参考にしたとはとても思えません。最初に方向性ありきだったのでないでしょうか。

特に、個人に適した量の給食を提供できるように工夫することが望ましい、成長期の中学生にとっては大切な食事の 1 回であり、安価で栄養バランスが整った給食が提供できる環境、小学校における給食が 1 日の食事の中で重要な役割を担っていて、その役割を引き継ぐと書かれていることは、重要な指摘です。

また、中学校専属の栄養士を配置することが出来れば、食育の推進になり、中学校給食を実施する理由ともなります。

(意見 1 3 6)

食育に関心が高い現代において、小学校のような栄養士が監修したバランスの良い給食を食べるということは、子どもたちの将来に大きな良い影響を及ぼすと考えますので、是非、子どもたちには栄養バランスの良い質の高い給食を食べさせてあげたいと考えま

す。

（意見 137）

デリバリー弁当を注文する生徒としない生徒がいたとしても、全員に食育を行うことができるような中学校給食を実施してほしいと思います。

（市の考え方）

現在学校給食を実施している小学校では、児童による栄養バランスを考えた献立作り、給食に絡めた食に係る情報を児童及び保護者へ提供することを目的とした各学校の栄養教諭や栄養士が毎日作成の「給食便り」等で、日常的に食育を推進する取組を行っております。

このような小学校給食における効果的な取組を生かし、また、既に中学校給食を実施している他自治体の取組を参考にし、中学校給食においても、食材の栄養や季節感のほかに、家庭における調理方法や家庭弁当での使い方などを載せた給食便りの発行などで、全ての生徒及び家庭に対して情報提供するなどしてまいります。

また、いただきましたご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、小学校とも連携し食育の推進を図り、生徒の心身の健やかな成長と望ましい食習慣などにつながる学校給食のあり方について研究してまいります。

（意見 138）

まとめに書かれている各方式の内容でも、公教育の責任を放棄しています。

特に「衛生管理等」では、「民間調理場において、高度な衛生管理体制及び環境を整えることで、衛生管理が徹底できる」と書かれています。民間の企業を信じるだけで責任は果たせるのでしょうか。

また、ここにデメリットが書かれていませんが、民間企業ですからどんなに手厚い条件で始めたとしても、撤退や倒産などは起こり得ます。その場合にはどうするのかも記載がありません。今が良ければよいというものではなく、食育としての責任を持って、システムを考えてください。

（意見 139）

なるべく早く実現してほしいという思いもある反面、安全安心を最優先に検討してほしいので、スケジュールありきではなく安全を最優先して検討してほしいです。

（意見 140）

他自治体の異物混入問題・安全性を求める声もあったとか、このことから十分に安全性を確保してすすめてほしい。

（市の考え方）

デリバリー方式の民間事業者の調理施設につきまして、高度な衛生管理体制及び環境とするために、導入要件として「学校給食法」に定められた学校給食衛生管理基準、厚生労

働省の大量調理施設衛生管理マニュアルなどの食品衛生及び公衆衛生に関する法令に準拠することや、金属探知機を設置し異物混入を未然に防止するなどの具体的な管理体制を明確化して進めてまいります。また民間事業者の選定では、経営や信用の状況、不誠実行為の有無、実績、業務遂行能力などに留意し、適正な業者であることを判断してまいります。

いただきましたご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、食中毒予防など衛生管理を徹底する、安全安心な学校給食のあり方について研究してまいります。

(意見 1 4 1)

中学校の給食の安全性について心配しています。

外国産の肉類による伝染病や、東北大震災による放射能汚染などの問題が数年に一度問題になっている中、どのような安全基準で食材の選定調達をしているのか疑問があり、今治市などのオーガニック給食を取り入れている自治体での事例を参考にし、茅ヶ崎市でもとりいれてもらえることを希望します。

全国的にも茅ヶ崎市は自然豊かな都市として認知されている環境の中、オーガニック給食を取り入れる事で、行政の市民、国民へのアピールを行うことができるのでは無いでしょうか。

また、市民にもオーガニック食材の安全性を浸透する事で、観光客への対応や、ネット通販の野菜の販売の影響も向上し、茅ヶ崎市の外貨獲得も期待できるので無いかと思っています。

是非、ご一考をお願いします。

(意見 1 4 2)

提供いただく食材について

放射能検査はもちろん、地産地消にこだわった食材。出汁からとった丁寧な食事。なるべくオーガニックなどにこだわっていただくと、世界の最先端をゆく茅ヶ崎をアピールできるのではないかなあ、と、思います。

子どもたちには、美味しくて、安心安全な物を食べさせたいです。

(意見 1 4 3)

食材の安全性をしっかりとしていただきたい。安さを追求し、給食に添加物や放射能汚染の可能性がある食材を使われるかもしれない不安があるくらいなら、給食は望まない。納得のいく食材で自分で作った弁当を持たせることを選ぶ。

同じ理由で、食材の出どころがわからなくなる、安い値段で契約をするために粗悪な素材を使うなどの可能性が考えられるので、仕出し屋の弁当などは望まない。大手のコンビニなどが扱う弁当なども普段からあえて買わないようにしているくらいなので選択肢外。そのような弁当を買うシステムになるなら弁当を持たせることを選ぶ。

(意見 1 4 4)

茅ヶ崎市に住んでもらいたいというアピールの場としても、オーガニック食材を使用した給食を売りにしても良いのではないかと思います。協力してくれる農家さんもたくさんいらっしゃるので、検討してみてもいいのではないでしょうか。

(意見 1 4 5)

子供達の心身の健全な発達及び食育の推進のため、無農薬、無肥料、無除草剤で作られた野菜や無添加食材の使用を求めています。また、遺伝子組み換えの食材を使用しないでください。

石川県羽咋市

<https://www.city.hakui.lg.jp/kyouiku_bunka_sports/kyouiku_gakkou/2/index.html>

愛媛県今治市

<https://www.city.imabari.ehime.jp/nourin/tisan_tisyo/tisantisyo01.html>

など、オーガニック給食を取り入れている自治体は日本にもあります。これらの自治体の取り組みを参考にしてください。

小麦粉を使用したパン等はアレルギー等の原因にもなりますのでグルテンフリーまたは古代小麦を使用してください。

牛乳に含まれるカゼインは人間では分解・消化できず腸に大きな負担がかかります。

また、成長ホルモン剤を使って育てられた牛からとられた牛乳は不自然な成長を引き起こす要因とも言われています。牛乳はご飯には合いませんし、給食では出さない、または選択制にしてください。

栄養管理は非常に重要です。バランスよく栄養を取れる献立にさせていただくとともに、何を体に入れないかも非常に重要です。何卒よろしくお願いいたします。

(市の考え方)

食材につきましては、本市小学校給食の給食物資を検討している物資選定部会において、安全性、味、作業性、価格などを考慮するとともに、可能な限り国産のもの、遺伝子組換えでないもの、必要のない添加物を含まないものなどの選定と同様にするとともに、地産地消として市内産や県内産食材を積極的に取り入れながら安全な食材としてまいります。

オーガニック給食などをはじめとするご意見につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、美味しく、安全で安心な学校給食のあり方について研究してまいります。

(意見 1 4 6)

この度は市民の意見の募集をしていただき、ありがとうございます。

今回の中学校給食の実施について、食物アレルギーの対応をととても心配しています。小学生の娘に食物アレルギーがあります。給食の時間は、対応できないものは代替食の持参やお弁当の持参をし“みんなと違うもの”を食べています。

「中学生になったら、みんながお弁当になる！」とあと数年の我慢と思っていた娘にどう説明したら良いのか悩んでいます。

現在、茅ヶ崎市には給食の調理、配膳など細かに記載された統一した食物アレルギー対応マニュアルがありません。そのため、各校で対応に違いがあり、やり方には不安も多く、安心して食べられる状況ではありません。

そこから考えると、中学校給食ではアレルギー対応はできない、できた場合も不安を感じることであり、お弁当を選択することになるだろうと思っています。選択肢のないアレルギーの子の気持ちになんらかの配慮ある案を出していただきたいです。

食物アレルギーの子が一品でも（デザートや飲み物など）“みんなと同じもの”を食べることができるなど、

また、アレルギーのある子の保護者は共働きなどライフスタイルの変化や経済的な事情でお弁当作りが負担と言ってはられない状況です。

アレルギー対応の食材は単価の高いものも多く、経済的な負担も大きいです。給食を選択できる家庭との差を少なくするため、食物アレルギーのため、やむを得ずお弁当の場合の補助金の交付を検討していただきたいです。

素案 P4 8、6、8 検討会議等であげられた課題に追加検討をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

（市の考え方）

食物アレルギー等の対応を必要とする生徒へのきめ細かな配慮が必要なこと、また本「あり方」の作成にあたり実施したアンケート結果による家庭弁当が食べたい児童生徒がいることから、全ての生徒に給食を提供するのではなく、中学校給食を選択制にすることが適切であると判断しました。

本市の学校給食における食物アレルギー対応につきましては、入学後に、小学校では保健調査票・食物アレルギーに関する調査票・学校生活管理指導表を、中学校では保健調査票をもとに、学校教職員等が保護者と面談をし、該当児童生徒に対する共通理解を図るとともに、給食や学校行事などの食事における児童生徒への安全な対応を図っております。

また、他自治体において、食物アレルギーを有する生徒及び保護者献立に食物アレルギー原因食品を含む場合の、給食を予約する際に注意喚起がされる、または予約不可とするなどの運用がなされています。

中学校給食においても、本市の小学校給食や、既に中学校給食を実施している他自治体の取組を参考にし、安全な給食の提供を目指します。

なお、食物アレルギーを持つ生徒への配慮ある対応などの運用全般に係る事項につきましては、今後、中学校給食の実現に向けた取組の中で、参考とさせていただきますとともに、学校給食の安全対策などについて研究してまいります。

■素案検討の体制等について（12件）

（意見147）

学識者については、貴重な意見が載っていました。検討会議に入ってもらい議論しなかったのはなぜですか。提案された点を検討会議でしっかり議論したのですか。

(意見 1 4 8)

中学校給食の実施にあたって「検討会議」「検討会議作業部会」を設けて検討していますが、市民委員と学識者の委員を入れないことは納得できません。自治基本条例と市民参加条例が、行政施策にいかされていません。なぜ、いかさなかったですか。時間がなかったという返答はやめてください。

(意見 1 4 9)

説明会に来た人たちだけでなく、多くの方々にどのような給食を期待しているかを確認したほうが良いと考えます。

(意見 1 5 0)

「茅ヶ崎市中学校給食検討会議」は、関係職員及び学校関係者のみの委員からなるものです。

自治基本条例、市民参加条例に規定があるように、市民にとって重要な施策に関して、市民参加で検討されることが規定されています。市民参加がされずに検討されたことで、他市の検討会とは全く異なり、市民の意見が入っていないことは、この検討結果によく表れていると思います。

(意見 1 5 1)

実施の方法は、「デリバリー方式か、弁当持参方式」の選択制が結論のようです。これが素案でしょうか、決定のようにみえますが。

中学校給食の実施は大事です。2020 年 2 月からの市議会に合わせて急いのではないのでしょうか。

実施方法については「財政負担が少ない方法・・・」が強調されているが、なぜ、膨大な費用をかけコンサルに委託するのですか。市職員でできることと思います。もしできないというならば、職員の仕事の仕方を考えなおし、できるようにしてください。

(意見 1 5 2)

検討会議の立ち上げが 2019 年 2 月からで、1 年を切るような短期間で方針をきめ、パブコメを取ることに以下の理由で反対します。

1. 検討会議に保護者が入っていないこと。
2. 生徒の意見を聞く場がなかったこと。
3. 自校・親子・兄弟方式が全校一斉開始は不可能としていて、可能にするにはどうしたら良いかを全く模索した形跡がないこと。
4. 可能な方法として「検討中の民間業者が存在している」(P54 8.2. 検討会議の一定の方向性 5 番目の・)とあり、先行した情報が示されたと推測できます。

全ての回答が誘導しているとしか考えられません。

学校給食の歴史は古くからその必要性が様々な形で検討され実施されてきました。

生活が豊かになったがゆえに生まれてきた格差社会の中で、子どもたちの健康が、とりわけ中学生時代の食生活が社会問題になっています。

特に中学校給食の必要性が話題になり、早期の導入が求められています。

にもかかわらず茅ヶ崎の取り組みが遅れていることは猶予できない状況です。

しかし市長の公約だからと言って、安易な方法で実施するのは良い結果にならないと思います。

デリバリー方式で破たんした行政の轍をわざわざ踏むことはないと思います。

1日も早く暖かい給食が、自校方式で全校一斉に行われることが望ましいとは思いますが、あらゆる手立てを模索して頂きたいものです。

財政難と言いながら造るものが多すぎます。保健所松浪中前の消防署の跡地など有効活用できる土地などありませんか？

教育委員会内部にとどまらず、大勢の意見を聞く検討会議でないと名案は出ないと思います。

出来るところから実施し全校にできるだけ早く、の姿勢で出直すことを求めます。

そうすることが多くの市民の了解を得る道です。

（意見 153）

この素案を作るために、コンサルティングを雇って、1000万円ものお金を使っていることも納得できません。他市では、市民参加と関係者、学識者等の検討会議を早くに設置し、方向性を決めてから、改めて、その方式の中で事業者を選定しています。

お金がないなら、市民に知恵を出してもらおうということをしっかりとやってほしいと思います。それこそが、行政改革であり、市民参加であり、協働なのですから。

（意見 154）

おそらく費用の面からデリバリー方式が検討されていることと思われるが、デリバリー方式で年間3億8千万もの税金を投入して実施される学校給食によって学校給食法第一条の目的が達成されるのであろうか。

学校給食の実施は第4条にある通り、努力義務であることは承知の上で、第2条を読むと学校給食はあくまでも「義務教育諸学校における教育の目的を実現するために」とある。

デリバリー方式による給食を実施する前に、本来の教育活動を充実するための学校の教育環境の整備としてやるべきことがあるように考える。

仄聞するところでは、生徒数に見合うだけのトイレの数さえ充分ではない学校があるようである。そのような環境を整備して、生徒が安心して快適に学習ができる状況を作った後に給食の導入に税金をかけるべきではないか。“学校はご飯を食べるためにあるのではなく、学習するためにある”ということを改めて確認して欲しい。

給食を実施する是非以前に、学校現場に不可欠な環境が十分に整備されているかどうか教員や生徒の声をよく聞いて、税投入の優先順位を決めてくれることを望む。周辺市町で学校給食実施の動きがあることは承知しているが、茅ヶ崎市として教育の本旨を見

失わない英断を望む。

(市の考え方)

中学校給食は、実施方式により具体的に取り組む事柄は異なります。

令和元年度は、策定する次期総合計画の実施計画における検討の準備として、実施方式の一定の方向性をお示ししました。

実施方式の一定の方向性については、平成 31 年(2019 年) 2 月に茅ヶ崎市中学校給食検討会議を設置し、今後の生徒数の推移、各中学校の状況や対応可能性、市内中学生への公平性、民間事業者の状況、先行自治体の状況、概算費用、市の財政状況などの情報を、収集、分析、本市の厳しい財政状況等を踏まえ、5 つの実施方式を検討したものです。

その中で、必要となる適切な施設整備などの各種基礎資料や、既存の個別計画との整合など、非常に多岐に渡るデータの客観的かつ専門的な分析や、検討会議等の運営支援などに業務委託を活用しています。その上で、中学校給食の実施における提供方法・栄養・食育の観点での注意点等について、学識経験者の意見を踏まえながら、本市職員及び学校の教職員で組織する検討会議で議論することにより、事業の目的が達成できるものと考えております。

次に、市民参加としては、本市の市立中学校で給食を実現できるか検討をするため、茅ヶ崎市立中学校の昼食について、実態を把握し、昼食のあり方を検討する上での基礎資料とすることを調査目的とし、本市市民参加条例第 8 条第 2 号に規定する中学校給食についてのアンケートを実施しております。また、素案について、児童生徒とその保護者をはじめとする市民の皆様を対象に説明会を開催し、意見交換をするとともに、本パブリックコメントで市民の皆様から広く意見を取り入れることとしました。

(意見 155)

中学校給食が県内の他市に遅れを取ってやっと検討される様になり、早急に実現される事が望ましいですが、急ぐあまり実際、給食を供給される側の市民の意見を検討委員会で大きく反映する体勢が整えられなかったのは残念に思います。パブリックコメントは周知のみでなく、(資料一式と意見書が子どものいる家庭に届くべき)各学校の保護者へ広く手渡る仕組みを考えて欲しかった。この方法では本当に市民の事を考えている様に感じられない。

(市の考え方)

ご指摘のパブリックコメントにつきましては、資料一式等を児童生徒のいるご家庭へ配布できませんでしたが、保護者の皆様からも広くご意見を伺うため、市立小中学校の児童生徒の保護者の皆様へ、各学校を通じ本パブリックコメント及び説明会の案内をするとともに、全小中学校の PTA 会長様や保護者代表者様等に対し資料一式等を送付し、本パブリックコメント及び説明会のご案内をいたしました。

(意見 156)

「検討会議」「検討会議作業部会」とも議事録がホームページで公開されていませんでした。なぜしなかったのでしょうか。

(市の考え方)

検討会議の議事録につきましては、本パブリックコメント実施に合わせて、令和 2 年(2020 年) 1 月に市ホームページにて公開しております。

(意見 157)

一番腹立たしいのが、自校式を検討する際、時間的なしわ寄せや場所の確保に部活をあげている点だ。

給食が始まれば季節によっては部活する時間が大幅に短縮する可能性があること、給食場を確保するためにテニスコートを一部無くすまたは移設する可能性があること素案の複数箇所に記載されている。

生徒に食か部活かをせまるとは。

それを両立させ充実した中学校生活を送らせてやりたい、と願うのは私だけではないだろう。

(意見 158)

検討会議の会議録を読んだ際に、部活動への影響を懸念する声が出ていました。調理場を建設するためにはテニスコートを撤去しなければならないため、調理場の建設は困難であるとの意見が出ていましたが、テニスコートは、うみかぜテラスにもあります。学校内に部活動の施設がなければいけないという考え方を変えて、近隣の施設や近くの学校のテニスコートを借りるなど、柔軟に考えてほしいと思います。

(市の考え方)

中学校給食を実現するためには、配膳等による日課の変更に伴う部活動などの生徒の学校生活への影響をはじめ、限られた敷地面積の中で給食調理場を建設するための余裕面積の状況などを検討することが必須となります。

本「あり方」では、これらを含む様々な影響や給食の実現の可能性について、多面的な調査・研究等を行い、実施方式の一定の方向性をまとめました。実施方式として決定したデリバリー方式は、他の実施方式と比較し、日課及び学校内の既存施設への影響を最小限に抑えることができると考えております。

また、部活動において、学校敷地内の施設の代わりに近隣などの施設を利用することは、移動時間により必要となる部活動の時間の確保等、新たな課題が生じるものと考えております。

なお、今後の検討においても、教育活動や教職員の働き方への影響について配慮し取組を進めてまいります。

■あらましについて (2 件)

(意見 159)

素案の『あらまし』(A3 版)について。

あらましとは概要を指すものだと思うが、いくつか文言が変えられていることが気になる。

中学校給食についてのアンケート結果の概要の中で、中学校給食が実施されると嬉しいこと、不安なことが主な意見としていくつか挙げられているが、素案 9 ページを見ると 1 番多い意見は「10. 不安に思うことはない」だ。（小 6 児童では 1. 量と同ポイント）これをまずあげるべきではないか。

11. その他（全ての対象者のうちの 10%以下）での意見を《主な意見》と記述するのは間違いと言わざるを得ない。味や安全性はまだしも「親の弁当が食べられなくなる」というのは恐らくごく少数の意見ではないのか。

引き続き『あらまし』の《検討会議の一定の方向性》において『「選択制デリバリー方式」を採用すべきである』となっているが、第 8 章 55 ページでは「採用すべきであると整理しました」とある。

『あらまし』では「すべきである」と言い切ってしまっているが、「整理した」を加えるのが妥当ではないか。

決定権はあくまで市民にある。

《実施方式のあり方》でも然り。「選択制デリバリー方式」とする、と断定するべきではない。

（市の考え方）

『あらまし』（A3 版）につきましては、「1 中学校給食についてのアンケート結果の概要」で記載している、中学校給食が実施されると「嬉しいこと」、「不安なこと」の主な意見は、本「あり方」10 ページ「（5）まとめ」の各設問の「その他」における記述をまとめた主な意見となりますが、本「あり方」11 ページでは、「期待すること等」、「不安なこと」としていることから、あらましの「嬉しいこと」を「期待すること等」へ修正いたします。

「2 検討会議の一定の方向性」では、本「あり方」55 ページで「採用すべきであると整理しました。」としていることから、ご意見を踏まえ、次のとおり文言を修正いたします。

◆修正部分の対照表

修 正 後	修 正 前
＊中学校給食についてのアンケート結果の概要＊ ➤中学校給食が実施されると<u>期待すること等</u>（主な意見） ・親の負担が減ること ・温かい食事 ・お弁当を忘れる心配がなくなること 検討会議の一定の方向性（第 8 章） 本市の中学校給食は、完全民間委託のデリバリー方式による給食か家庭からお弁当を持参するかを選択する「選択制デリバリー方式」を<u>採用すべきであると整理しました。</u>	＊中学校給食についてのアンケート結果の概要＊ ➤中学校給食が実施されると<u>嬉しいこと</u>（主な意見） ・親の負担が減ること ・温かい食事 ・お弁当を忘れる心配がなくなること 検討会議の一定の方向性（第 8 章） 本市の中学校給食は、完全民間委託のデリバリー方式による給食か家庭からお弁当を持参するかを選択する「選択制デリバリー方式」を<u>採用すべきである。</u>

(意見 160)

当パブコメ概要版よりタウンニュースの 1/24 号で課題等分かりやすい面もあるので、資料作成（概要版等）時工夫して欲しい。

(市の考え方)

パブリックコメント概要版につきましては、本「あり方」の目次に沿って、主なポイントをまとめたものとしております。

■説明会について（2 件）

(意見 161)

当パブコメ説明会参加者 2 名（小出支所）とあります。諸々の P R（啓発）には十分な工夫をお願いしたい。

(意見 162)

当パブコメの説明会実施について広報で見ましたが、説明会のチラシ等、パブコメ（資料）の配布場所に置くとか、資料の中に差し込むとかもっと工夫して欲しいです。

説明会会場、公民館等で行われますが、公民館のない地区はどう考えればよいでしょうか。たとえば菱沼海岸・小和田・東海岸等・・・中島・・・。

(市の考え方)

素案の説明会の実施につきましては、ご指摘のパブリックコメント資料の配布場所への掲示や資料への差し込みの工夫はできませんでしたが、広報ちがさきのお知らせ以外に、市ホームページ、及び市立小中学校でのポスター掲示により周知をいたしました。

また、保護者の皆様からも広くご意見を伺うため、市立小中学校の児童生徒の保護者の皆様へ、各学校を通じ本パブリックコメント及び説明会の案内をいたしました。

なお、説明会場につきましては、公民館のない地区を含めて、今回説明会を実施しました 1 月 16 日～31 日の期間で、市役所、小出支所、公民館 5 館、茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスの計 8 カ所の施設で、市民の皆様と意見交換をさせていただきました。

■その他の意見（2 件）

その他 2 件の意見をいただきました。